



しぶし 1

平成 19 年 1 月号
JANUARY

鹿児島県志布志市

CONTENTS No.13

- 02 新年のあいさつ
- 04 志布志市の 2006 年主な出来事
- 08 まちの話題
- 16 エコ通信
- 18 保健師メモ
- 24 教育委員会情報ネット
- 28 男女で作るうるおいと活力あるまち

平成 19 年元旦、心配された『初日の出』は、市内各地で見ることができました。松山町大谷山自然公園では、志布志地区から 1 時間以上かけ中学生が自転車で駆けつけるなど、多くの方が初日を拝んでいました。



輝かしい2007年の幕開けとともに、 志布志市誕生一周年を祝う。



新年賀詞

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には2007年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

志布志市が誕生し一周年を迎えることとなりました。新市発足以来、私どもは全身全霊を傾け「やすらぎとにぎわいの輪が協奏するまち」の実現のためにまい進してきたところです。市民の皆様並びに関係各位の温かいご支援とご協力を賜り、おおむね順調にまちづくりができたものと深く感謝いたします。

「にぎわい」のまちづくりは、各地域で行われてきた祭りを新市全体の祭りとして取り組み、「おしゃか祭り」「志布志みなとまつり」「やっちく松山藩秋の陣まつり」「ふるさとまつりIN有明」がそれぞれ例年以上の盛り上がりで開催され、たくさんの方に楽しんでいただき新市の融和が図られたのではないかと思います。

また新生志布志市は、九州唯一の

さて、皆様ご承知のように「さんふらわあ」大阪・志布志航路の変更が問題となっております。年末にブルーハイウェイライン西日本の役員の方々がお見えになり、航路変更の当面の目標日であった今年の4月1日を10月1日に延期するものの、変更の方針には変わりがないとの表明を受けました。「さんふらわあ」は、志布志はもとより大隅半島、そして鹿児島県の商業、観光、物流になくしてはならない存在です。今後とも絶対に志布志港から「さんふらわあ」の姿が消えることのないようあらゆる策を講じて努力してまいりますので、皆様方の更なる英知とご協力をお願い申し上げます。

日本漢字能力検定協会が発表した昨年の世相を象徴する漢字は「命」でした。天皇家に親王が誕生し新しい命が生まれたという嬉しいニュースがあった一方、いじめや虐待で尊い命が奪われたり、親が子であるいは子が親をといった信じられないケースでの殺人があったり、飲酒運転の巻き添えで命を無くすという痛ましい事件が問題となりました。

それでは、新生志布志市を象徴する漢字はなんだったろうかと考えた時、それはやはり「志(こころざし)」ではないでしょうか。私たちは合併をして新しいまちづくりに共々取り組み組むことを誓い、新たな歩みを始めました。そして「志布志」という

中核国際港湾志布志港を備え、その背後には整備が進んでいる豊かな農業地帯が広がり、港と農業の振興により新市の発展が期待されることです。

農業では畜産・お茶・メロン・イチゴ・ピーマンなど主要作物はすでに高い評価を受けているところですが、畜産部門の子牛の価格が依然として高水準で推移している中、秋に行われた鹿児島畜産共進会で本市出品の牛がグラントチャンピオンに輝きました。合併により1000ヘクタールを超える栽培面積となったお茶は、全国茶品評会で6度目となる産地賞を受賞するなど、日本有数の食料供給基地としての振興が図られています。それが実感できる年となりました。

反面、7月の豪雨で、農作物に多大な被害が出たり、秋からの好天気により野菜が豊作となりピーマンを始めとする冬野菜の価格が暴落し、農業の難しさを再認識させられたところです。

一方、志布志港新浜地区は本格的な国際ターミナルとして整備が進められています。志布志港のもたらす経済効果は1400億円を超え、19年度中に供用が開始され今後さらに、施設整備、機能拡充が図られますと、大隅地域の産業・経済の発展に大いに貢献できるものと期待しています。

この「志」の字を二つも戴いた私どもは、まさしく「志」の篤い、人に対する思いやりの深い人々の住むまちの市民であります。このことを改めて誇りにし、まちづくりに取り組むとすれば、どこよりも「うるおいのある」まちにできるのではないのでしょうか。今年はそのような意味で本格的に「志」あふれるまちづくりを始める年にしたいと決意するところです。

新しい年が市民の皆様にとりまして夢と希望に満ちた年となり、更なる発展と幸多からん年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

2007年 元旦

志布志市長 本田修一



有明町伊崎田にある白鳥神社の元旦祭で餅つきをする市長



4月29日、志布志市誕生記念お釈迦祭り



5月20日、第6回ホテルの夕べ in 高下谷



5月31日、チャレンジデー 2006



6月の行革推進委員会の様子



7月3日、「社会を明るくする運動」出発式

志布志市地域職業相談室が志布志支所1階に開設されました

4月から、求人情報を広く地域の方に届けるため地域職業相談室が志布志支所の1階に開設されました。

4月1日、鹿児島堀口製茶新工場竣工稼働式

国内最大級の規模を誇るこの工場は1時間に5000kgの生葉処理が可能で、伊藤祐一郎鹿児島県知事もお祝いに駆けつけました。

4月7日、あんしん・あんぜんパトロール出発式

しづし創年団の団員50人が集まり、自動車にマグネットシールを貼り、腕章を着けて防犯などのためにパトロールの出発式を行いました。

4月18日、かごしまの農林水産物認証

JAあおぞらかぼちゃ部会が「かごしまの農林水産物認証」を受けました。これは市内で2件目(3品目)の認証となりました。

4月23日、春の陣まつり開催

道の駅松山で、大隅の國やちつく松山藩春の陣まつりが開催されました。新鮮野菜の即売会やバザーに多くの人を訪れました。

4月23日、「おじゃったもんせクリーン大作戦」

4月29日に開催される「お釈迦祭り」に、市外から訪れる観光客の方が少しでも「志布志市はきれいなところだった」と好印象を持ってもらえるよう市内全域でクリーン作戦を行いました。その後もマイロードクリーン作戦など、市では様々な美化活動に取り組んでいます。

本格焼酎「夢しずく」完成(4月)

しづし夢しずく工房の利用者の皆さんが原材料となる芋の植え付けから、収穫、ラベルのデザインまですべての工程にかかり作り上げた焼酎「夢しずく」が完成しました。

4月29日、志布志市誕生記念お釈迦祭り

釈迦降誕を祝う「お釈迦祭り」が宝満寺跡公園を中心に盛大に開催されました。また、松山、有明地区を含め市内各寺10か所でも灌仏会を行い、先着1千人に新茶が配布されました。

5月4日、ひまわりの種まき

「ひまわりまつり」会場となる1畝の畑に200人を超えるボランティアが集まり種まきをしました。

5月15日、老人クラブの合併調印式

志布志健康ふれあいプラザで松山町、志布志町、有明町の老人クラブ連合会の合併協定調印式が行われました。

5月26日、志布志ライオンズクラブが環境パトロール車を寄贈

志布志ライオンズクラブの結成40周年記念事業のひとつとして、市に環境パトロール車が寄贈されました。

5月31日、チャレンジデー 2006

志布志市と沖縄県南城市の住民が、1日15分以上のスポーツ参加率を競うユニークなスポーツイベント「チャレンジデー 2006」が開催されました。この日は市内各地で様々なスポーツが行われました。

市民参画のまちづくりを目指し『創年市民大学』が開校

6月に新入生41人を含む126人が在学する市民大学が開校しました。

6月14日、ふるさと協議会と協定書作成

市長室で志布志市ふるさと協議会と大規模災害における応急対策に関する協定書が作成されました。

1月1日 開庁式

小雨模様の天気のため初日の出は拝むことはできませんでしたが、市役所、志布志支所、松山支所で多くの関係者が見守る中で、開庁式が行われました。

1月1日、3日、5日 成人式

1月1日に松山地区、3日に有明地区、5日に志布志地区で成人式が行われ、571人が大人の仲間入りをしました。

1月5日、6日 消防出初式

1月5日に松山地区、6日に志布志、有明地区でそれぞれ消防出初式が行われました。

1月7日七草祝い

各地区公民館で七草を祝う行事が行われました。

1月22日、第1回志布志ジョガー駅伝大会

志布志陸上競技場でジョガー駅伝大会が開催され、市内外から45チーム、225人が参加しました。

1月26日、文化財の消火訓練

第52回文化財防火デーにあわせて、志布志地区の6か所で、南部消防署等の協力により消火訓練が行われました。この訓練は、市内にある文化財が消失することを防止するために実施されました。

2月5日、県内一早いだご祭り

志布志町田之浦の山宮神社で県内一早い春祭りといわれる「だご祭り」が行われました。お宮には各自治会から奉納されただご花が飾り付けられました。

2月12日、市長、市議会議員選挙

志布志市が誕生して初めての選挙が行われました。翌日2月13日に、本田市長が初登庁を行いました。

2月18日～22日、第53回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会

県下一周駅伝(南日本新聞社主催)に曾於地区代表として、志布志市から7人の選手が参加しました。曾於チームは3位と活躍しました。

2月25日～26日、生涯学習フェスティバル

1年間の生涯学習の成果を発表する生涯学習フェスティバルが、志布志市文化会館で開催されました。市として最初の生涯学習フェスティバルには32講座、782点の展示物や「日本昔ばなし」など42講座、472人の舞台発表が行われました。

3月12日、第1回しづしポートマラソン大会

志布志港を背景に走る第1回しづしポートマラソンが開催され、小雨の降るあいにくのコンディションのなか、約450人の参加者が自分の体力に合わせた、それぞれのコースに挑戦し、健脚を競いました。

3月19日、農業委員会委員選挙

合併後初の農業委員を決める選挙が行われました。

ジュニア五輪水泳大会で優勝

3月27日から30日にかけて、東京辰巳国際水泳場などで開催されたJOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会に、志布志ドルフィンズスイミングクラブの山口大貴君が13～14歳男子100m平泳ぎ、200m平泳ぎの2種目で優勝しました。



1月1日、志布志市誕生!



1月14日、伊崎田小学校区の福神舞



2月19日、松山神社のだご祭り



3月12日、第1回しづしポートマラソン



4月は市内各地で茶摘の風景が見られました





9月5日、防災訓練



9月28日、1000人街頭立哨



10月14日、平成子どもふるさと検地



11月11日・12日、やっちく松山藩秋の陣まつり



11月26日、志布志市ふるさとまつり IN 有明

■ 8月29日、ウミガメの放流

一丁田海岸で通山小学校の親子を中心とする70人が集まり、ウミガメの放流を行いました。

■ 9月4日、青パトの出発式

志布志警察署で、自主防犯組織「しぶし創年団」による青色パトロールカーの出発式が行われました。出発式の後、団員約50人が19台の青パトで市内全域をパトロールしました。

■ 9月5日、曾於地区総合防災訓練

大隅半島を震源とする強い地震が発生したとの想定で行われた訓練には消防署や消防団、警察署、医療機関、社会福祉協議会など様々な団体や個人が参加し、その人数は1000人を超えました。万一来臨に備え、参加者は真剣に訓練に取り組みました。

■ 9月28日、交通安全1000人街頭立哨

秋の全国交通安全運動期間にあわせて「1000人街頭立哨」が実施され、権現橋から稚子の松交差点までの約2kmの区間に学校や自治会、企業団体の皆さんが朝早くから並び、沿道からドライバーや通学する児童、生徒に交通安全を呼びかけました。

■ 10月13日、さんふらわあ志布志航路撤退の報道

原油価格の高騰などを理由にさんふらわあ「大阪～志布志航路」の撤退についてブルーハイウェイライン西日本から説明がありました。市では「さんふらわあ志布志航路存続協議会」を設立し、鹿児島県をはじめ、各種団体と協力して、航路存続に向けて努力しています。

■ 10月13日、FM志布志が開局

NPO法人「志布志コミュニティー放送」によるFM志布志の本放送がスタートしました。FM志布志は78.1Mhzで大隅半島の情報などを主に発信しています。

■ 10月15日、第98回伊崎田相撲

伊崎田小学校土俵で伊崎田相撲が開催されました。明治41年の戊辰詔書発布を記念して始まったといわれるこの大会は、あと2年で100回を数えます。

■ 志布志地区福祉タクシー運用開始（11月）

志布志市福祉タクシーが志布志地区で運用を開始し、11月2日、そのセレモニーが志布志支所で行われました。

■ 11月18日、第2回生涯学習まちづくり志縁サミット

創年と子どものまちづくりを目指して「志」の付く自治体を中心としたサミットが、埼玉県志木市を含む5自治体、120人の参加で行われました。

■ 11月11日・12日、大隅の國やっちく松山藩秋の陣まつり

11日の前夜祭では、中国河南省雑技団 & 少林寺武術団の公演なども行われました。12日の本祭では大手門が開き、約100人の迫力ある武者行列が会場に入ると大きな歓声が沸き起こりました。舞台では五月みどりの歌謡ショーもありました。会場では、おなじみの野菜の大判振る舞いなどもあり熱気にあふれていました。

■ 11月26日、第1回志布志市ふるさとまつり IN 有明

オープニングに「やっちくライダー隊」が舞台前に集結し、合併後初のふるさとまつりを祝いました。午前中は雨の中での開催となりましたが、会場内は熱気にあふれていました。

■ 7月1日、第6回チャリティゴルフ大会

大隅カントリークラブで開催された大会には、160人の参加があり、ゴルフの腕を競いながら181,391円の募金が集まりました。

■ 7月4日～7日、国際青少年音楽祭 in 志布志市

志布志市の小中学生がコーク市（アイルランド）のコーク児童合唱団と音楽を通じて交流を行いました。

■ 7月5日、志布志市を大水害が襲いました

7月5日夜、1時間あたり80mm以上、日降水量も200mm以上という記録的な豪雨で、市内の各地で土砂崩れが発生し、62か所で通行止めがありました。また、川の増水で橋が流されたり、農作物にも多大な被害が発生しました。

■ 7月8日、ひまわりの観賞会

野神校区森林組合近くのひまわり畑で、約3万本のひまわりが満開を迎え、多くの市民がひまわりの観賞に訪れました。

■ まちづくり委員会が発足

住民自らがまちづくりの計画段階から市政に参加できる体制を整え、住民と行政が一体となった住民参画のまちづくりの推進を図るため、志布志市まちづくり委員会が発足しました。7月10日に1回目の会議が開催され、市長から委員に委嘱状が交付されました。

■ 7月16日・23日・26日、消防団操法大会を開催

市消防団操法大会が7月16日に有明方面隊、23日に志布志方面隊、26日に松山方面隊で開催されました。大会には小型ポンプの部に17チーム、ポンプ車の部に8チームが出場し、日頃の練習の成果を競いました。

■ 7月16日・17日、志布志みなとまつり

志布志港旅客船埠頭を中心に志布志みなとまつりが行われ、2日間で10万人が会場を訪れました。16日の花火大会では1万発の花火が観客を魅了していました。

■ 7月21日、志布志青少年研修出発式

志布志支所会議室で海外研修の出発式が行われました。今年度は21人の青少年が、シアトル市、トレーシー市、中国で研修を行いました。

■ 7月28日～31日、雪国の子ども達が南国の夏を満喫

友好都市山形県酒田市（旧松山町）の青少年8人と2人の引率者が、3泊4日で志布志市を訪れ、市内の家庭にホームステイしながら南国鹿児島島の暑い夏を体験しました。

■ 8月12日、第28回松山納涼夏祭り

松山城山総合公園多目的広場で開催された納涼夏祭りは、舞台でかき氷の早食いや保育園児のお遊戯、子ども浴衣コンテストが行われました。舞台終了後は花火大会も行われ夏の夜空を彩りました。

■ 8月1日～12日、志布志みなとサッカーフェスティバル

市のサッカー協会が主催したこの大会は、順位を競うものではなく、練習試合を行う大会で、今回で11回目の開催となりました。全国から68校が集まり400試合が行われました。

■ 8月25日、海を守るウッズ地球環境サミット、

ダグリフェスタ2006の一環として、世界的なプロウィンドサーファーの中里尚雄氏を招き「夢をあきらめないで」をテーマに環境講演が行われ、100人を超える子ども達が集まりました。



7月16日、志布志みなとまつり花火大会



7月29日、志布志市掃除に学ぶ会



8月29日、ウミガメの放流



8月に行った、ふるさとCM大賞2006の撮影風景



9月14日、蓬の郷入浴者150万人達成





フリーマーケットのほか様々なパフォーマンスも行われました

本格的フリーマーケットを開催

12月10日、ふれあい健康プラザ駐車場特設会場で、本格的なフリーマーケット「第1回しぶし『まるまる』マーケット」が開催され多くの家族連れなどが訪れました。

会場には28グループのフリーマーケット出店があり、古着や雑貨、おもちゃなど様々な商品が並び、会場を訪れた人は、掘り出し物を探そうと一つひとつ手にとりて見入っていました。また、特設舞台ではバンド演奏やダンスの披露などが行われ、楽しい冬の一日となりました。

実行委員の晴永知之さんは「まだ手探りの開催ですが、季節ごとに開催したいですね」と話していました。

障害者相談支援センター開所

12月25日、志布志支所で曾於地区障害者相談支援センター開所式が行われました。

精神障害を持った方やその家族が、何でも相談できる窓口として志布志支所1階に『障害者相談支援センター』を開所したもので、障害を持った方が身近なところで、サービスが利用できるように、利用手続きのお手伝い等を行います。

開所にあたり市長は「この支援センターが、保健医療と福祉を結び、パイプ役となり、障害を持つ方が、サービスを受けやすくなることを期待しています」とあいさつしました。

■問い合わせ先 支援センター
TEL 472-1111 (内176)



関係者が見守る中で看板設置なども行われました

年末年始の交通安全の呼びかけ

12月20日、国道220号線の志布志市と串間市の境界付近で交通安全の呼びかけを行いました。

この時期は人や自動車の動きも忙しいため、全国的に展開されている「年末年始の交通事故防止運動（12月22日～1月10日）」の一環として、例年行われています。

志布志市に向かう運転手には志布志地区交通安全協会が、串間市に向かう運転手には串間市交通安全協会がそれぞれチラシやガム、お茶、手作りのお守り、花の苗を手渡ししながら「安全運転をお願いします」と呼びかけました。



運転手一人ひとりに交通安全を呼びかけました



玉垣さんと永吉さんのご家族と市長

故玉垣市郎さんと永吉守さんが 旭日章を受けました

永年、志布志町議会議員としてご尽力いただいた故玉垣市郎さんに旭日章が、同じく有明町議会議員としてご尽力いただいた故永吉守さんに、旭日章が授与されました。

12月15日、市役所で市長より家族の方に伝達が行われました。玉垣さんは昭和50年5月から28年間、町議会議員として、住民福祉の向上に尽くしました。志布志町議会では文教厚生委員長、総務常任委員会副委員長を歴任し、産業や教育の向上に多大な貢献をされました。

また、永吉さんは昭和50年5月から20年間、町議会議員として住民福祉の向上に尽くされました。有明町議会では経済常任委員会委員長、建設常任委員会副委員長等を歴任し、経済の振興等に多大な貢献をされました。お二人の功績に感謝します。



小雨の降る中で土作りから作業を行いました

さんぶらわあ利用を気持ちよく

12月14日、さんぶらわあフェリーターミナル前の37個の大型プランターに志布志市造園建設業協会（福山康平会長）の手により、葉ぼんとパンジーの苗が植えられました。

以前は、他の団体が管理していましたが、ここ数年間は手入れもされていなかったものを、同協会が「ここはフェリーを降りた人が、最初に通る『市の顔』なので何かできることはないか」と、今年の夏に初めて取り組みました。

会長の福山さんは「年末年始に多くの方が、この地を訪れたときに少しでも喜んで貰えたら嬉しいですね」と話していました。作業をされた皆さんお疲れ様でした。



楽しい話に子ども達は夢中になりました

クリスマスおはなし会

12月17日、有明農村環境改善センターで、にこにこ☆ひろばクリスマスおはなし会が開催され約40人の子ども達が集まりました。

おはなし会では、ペーパーサート^{*1}やエプロンシアター、手遊びのほかブラックパネルシアター^{*2}も行われました。

最後に、プレゼントを持ったサンタクロースが登場すると、子ども達は大変喜んでいました。

にこにこ☆ひろばでは、毎月イベントを計画しています。是非、皆さんも一度遊びに来てください。

手作りの散策道整備

猜ヶ宇都自治会で、自治会内にあるお宮に通じる散策道の階段整備を行いました。

30年前にコンクリートブロックで作られた40段の階段は傷みも激しく、危険な状態だったため、自治会員の手による整備をすることになりました。

階段の材料は、JAあおぞら伊崎



石段の完成を祝っての記念写真

子ども達のおゆうぎに笑顔

12月13日、特別養護老人ホーム小松の里を有明保育所、蓬原保育所、野神保育所、山重幼稚園の子ども達44人が訪れ、かわいい踊りを披露し、利用者に喜ばれました。

有明地区の公立保育所と幼稚園の職員で構成される『保育士会』が、研修会の際に社会奉仕活動に取り組み、もうと平成元年から小松の里で、車いす磨きや掃除などを行っていましたが、利用者からの要望もあり、各園の年長児が訪れる様になりました。

子ども達は、おじいさんやおばあさんのために一生懸命練習した踊りを披露していました。



かわいい踊りに施設の利用者から笑顔があふれていました

*1 紙に書いた絵を棒で動かす人形。「ペーパーパペットシアター」を略した造語です。
*2 暗くした部屋で、特殊な光をあて、作品を浮かび上がらせる、パネルシアターです。



子ども達は交代で杵を持ち餅をつきあげました

自分たちの育てたお米で餅つき
12月12日、原田小学校で地域の高齢者やPTA会員の協力で、子ども達が餅つきをしました。
子ども達は、約5アールの水田に田植えから収穫までもち米の栽培を行い、その収穫したもち米8升で臼と杵を使い餅をつきました。
餅つきが終わると子ども達は、つくった餅をおいしそうにほおばっていました。
また、子ども達の手によって丸められた餅は、交流のある西光保育園の園児や特別養護老人ホーム小松の里の利用者等にもプレゼントされ大変喜ばれました。



独自の取り組みなどの発表をしました

環境学習ネットワークに参加
12月15日から17日にかけて、国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）で開催されたグローバル日本生徒の集いに出水中学校の2年生5人と引率の松永崇利教諭の6人が参加しました。
グローバルとは「環境のための地球学習観測プログラム」の略で、元アメリカ副大統領ゴア氏が提唱した世界規模の環境学習ネットワークです。出水中学校も全国20の文部科学省指定校の一つとして2期4年間に渡って活動が続けています。
集いでは、志布志市にしか生育していない県の天然記念物ウスカワゴロモや、生徒総会で話し合った校内環境ISO的な取り組み「エコリング」などについてパソコンやポスターを使って発表しました。

プロのバスケットの迫力に興奮
12月5日、香月小学校でスポーツ選手とのふれあい授業が行われ「千葉アスアローバジャーズ」でプロのバスケット選手として活躍している宮ノ腰達也選手がバスケットボール教室を行いました。
「全てのスポーツは走る事が基本」と宮ノ腰選手は話し、バスケットやスポーツだけではなく、何をするにもどうやったら上手になれるかを考えることが大切と話しました。
その後、子ども達はボールを手にして様々な練習を行いました。
最後に宮ノ腰選手と子ども達で1人対5人で試合を行うなど交流を深めました。



『本物』の迫力に子ども達は様々なことを学びました



折鶴などのプレゼント等も皆で準備しました

子ども達と高齢者が交流
12月15日、介護老人保健施設ありあけ苑に通山小学校の5年生30人が訪れ、歌や寸劇を披露し、利用者との交流を行いました。
最初に、ありあけ苑職員の安崎義隆さんが「病気になるたくてなる人、障害を持ちたくて持つ人はいません。そのような人と接する時はそのことを忘れず、自分に何ができるか考えましょう」と話し、子ども達は真剣な面持ちで聞いていました。
交流会では、子ども達が練習してきた歌や、寸劇を披露すると、利用者からは大きな拍手がおこりました。その後、肩揉みをしたりして交流を深めました。



市から送られた楽器を使う子ども達

海を越えて志布志からの贈り物
市で集めたリコーダーやピアノカ等の楽器6箱が、シリアのパレスチナ難民キャンプに届きました。

初めて触れるリコーダーに子ども達は、右手と左手を間違えたり、笛を口に入れすぎたりしていましたが、国連パレスチナ難民救済機構の退職パーティーで演奏を行うなど、大変上達しました。

現地で、協力隊員として活躍している吉見智子さんから「現地の人たちもこのプレゼントを大変喜んでます」と報告がありました。

タンザニアで国際協力
平成19年1月から平成21年1月まで、タンザニアのタンダヒンバ病院に志布志市出身の大脇佳代さんが、国際協力機構の青年海外協力隊員として参加することになりました。
12月20日、市役所を訪れ、国際協力参加の報告を行いました。
大脇さんは「立場の弱い人が社会の犠牲にならないための仕事があった。これまで、小児看護に携わった経験を生かし、多くの人の力になることを目標に2年間活動します。」



市長に激励を受ける大脇さん

九州高校放送コンテストに出場
志布志高等学校放送部が11月7日に行われた放送コンテスト予選を勝ち抜き、12月13日から15日にかけて行われた九州大会に出場しました。
作品は「言葉と想いは伝え様」というタイトルで言葉の大切さなどをまとめた番組です。先日FM志布志でも放送されました。
出場した前田綾香さんと桐原千種さんは「内容だけではなく、録音技術も試されるので大変でした」と話していました。

市報の朗読にも参加しています
写真左：桐原さん 右：前田さん



アンサンブルの部（金管五重奏）で金賞の皆さん

志布志高等学校吹奏楽部が活躍
12月9日、10日、加治木町文化会館で開催された第33回アンサンブルコンテスト鹿児島県大会高校の部で、志布志高等学校吹奏楽部が金賞を受賞し、2月に行われる第32回九州アンサンブルコンテストの鹿児島県代表に選ばれました。
金管五重奏で参加した志布志高等学校は、全員が1年生ながら、演奏曲目「空想、おもちゃと夢」を重厚な響きで5人とは思えない演奏でまとめ高い評価を受けました。
2月に開催される第32回九州アンサンブルコンテストでの活躍を期待します。
また、フルートで参加したソロの部では、志布志高等学校2年生の東垂水夕貴さんが「ハンガリー田園幻想曲」を演奏しました。



ソロの部で金賞の東垂水夕貴さん



ESS部の皆さんと中村裕校長
英語クラブが全国大会で活躍

12月16日、17日、岐阜県で開催された第1回全国高校生英語ディベート大会に志布志高等学校のESS（英語）部が出場し、54チームの参加のなか12位と活躍しました。

『日本は英語を公用語にすべきである』を論題に英語でディベートを行った同部の藤田拓磨部長は「一つのことに対して違う考えをもった多くの人に会えてよかった。来年は優勝したい」と話しました。また、同部はその他の大会でも活躍し、優秀な成績を納めています。

列車ギャラリー作品展に入選

12月3日、JR串間駅ホームで『JR日南線「列車ギャラリー」作品展』表彰式が行われました。

志布志市からは、絵画の部で香月小学校4年の山之内孝さんと出水中学校2年の西園祐希さんが、九州旅客鉄道株式会社鹿児島支社長賞を受賞しました。

また、出水中学校2年放生會雄地さんが、JR日南線利用促進連絡協議会会長賞を受賞しました。

「列車ギャラリー」は、JR日南線の利用促進運動の一環として、平成8年度から取り組みを始めてきました。今年度もJR日南線「列車ギャラリー」作品を募集したところ、多数の応募をいただきました。

作品は、10月7日から12月4日まで列車内に展示されました。これからは日南線の利用をお願いします。



放生會さん 山之内さん
JR串間駅ホームで表彰式が行われました

志布志市のしいたけが高評価

12月19日、大隅合同庁舎会議室で、平成18年度曾於地区しいたけ品評会が開催され、有明地区の吉田一虎さんと中川ミズズさんが、乾しいたけ部門で最優秀賞を受賞され、吉田一虎さんは生しいたけ部門でも最優秀賞を受賞されました。

その他、有明地区の中川憲司郎さん、清水英男さん、中川弥生さん、志布志地区の濱野博さん、河野巖さんが優秀賞を受賞されました。

今回受賞された皆さんを含め、本市のしいたけ栽培をされている方々は、自ら研修会での技術交流を行うなど、品質向上に積極的に取り組まれています。



最優秀賞を受賞した吉田さん夫妻

干支の石像お見え！今年は猪

12月23日、市役所北側の岳野山で干支の石造設置が行われました。

今年の干支「猪」をモチーフにした石像で、毎年石像造りを行っている穴見正さんと、岩本剛さんが、十二支会の協力もあり、約3トンの榎原石の原石を10月末から彫り上げました。

平成8年に何か心に残る物をこの場所に残せないかと考え、年末に翌年の干支の石像を造り始めましたが、最後の猪の石像の完成で十二支全ての石像が完成しました。

石像を作った一人、穴見さんは「毛並み等の動物の雰囲気作りがとても難しかった」と話しました。



多くの賛同者が集まりました



なつかしい雰囲気に見物客は和やかな気持ちになりました

いにしへの神々が舞う「夜神楽」

12月2日、田之浦ふるさと交流館神楽殿で、田之浦山宮神社に伝わる夜神楽が行われ、伝統ある神楽を見ようと大勢の見物客が訪れました。

かがり火が映し出す幻想的な雰囲気の中で、地元小中学生を含む約50人の保存会の会員は、鹿児島弁で「田の神」と農民が掛け合いをするユーモラスな「田の神舞」や勇壮な「四方鬼神舞」など気迫あふれる舞台に見物客は酔いしれました。

この日、神楽舞保存会（井久保修二会長）が復活させた24段の舞（本来は33段）のほか、この日は地元中学生の創作神楽1段を含め25段が、笛や太鼓の音と共に、夜遅くまで披露されました。

子ども達にお茶をプレゼント

12月27日、市茶業振興会有明支部有明茶業振興会（堀口泰久会長）が市役所を訪れ、有明地区内の小中学校にお茶の葉や急須などを寄贈しました。

「志布志市はお茶の産地なので子ども達にペットボトルだけではなく、リーフ茶（急須で入れるお茶）のおいしさに、もっと親しんでもらおうと準備しました」と堀口さんは話していました。素敵なプレゼントをありがとうございました。



市長と教育長にお茶が渡されました



地域の方がふれあいながらのそば打ち
一足早くお正月
ふれあい会でそば打ち体験

帖五区自治会（外牧武文自治会長）では、父母・高齢者が自然とのふれあいをとおして地域ぐるみで子どもを育てようと夏と冬の年2回ふれあい会を開催しています。

恒例となった冬のふれあい会を12月17日、帖五区農産加工センターで開きました。

会には60人の親子、地域住民が参加、もちつきやそば打ちに挑戦し、一足早くお正月の雰囲気を楽しみました。



素晴らしい作品の寄贈がありました

日展志布志展の作品を寄贈

10月から11月にかけて行われた鹿児島日展志布志展に展示されていた作品2つが、市に寄贈されました。

作者の気持ちを市に残したいと出展した高田さとこさん（日展会友・作品名：風晃一04・F）と下江カヨリさん（作品名：森一シンフォニー）から申し出がありました。

現在、市長室に飾られていますが、市長は「多くの市民の方に見てもらえるように、人目に触れる場所に展示したい」と話していました。

ウィンターミーティング2006

12月26日、シルバー人材センター会議室や農村環境改善センターで、市内外の中学校生徒会役員43人が集まり交流会が行われました。

3年前に出水中学校が他校との交流と情報交換を目的に開催して、今年が4回目の開催になります。

今年、市内の中学校の他に大崎町の菱田中学校生徒会など6校が集まり、オリエンテーションの後、パソコンを使っての事例発表（グループワーク・サミット）を行いました。

有明中学校2年の京之嶺拓也文化部長は「フィールドワークで他の学校と仲良くできました。情報交換もできたので、これからの生徒会活動に生かしたい」と話しました。



交流だけでなく様々な体験活動も行いました



「安い・安心・安全」がキャッチフレーズです

特産海産物の直売所がオープン

12月22日、志布志漁業協同組合（吉田全組合長）の直売店「びろう」がオープンしました。開店の午前10時には、正月用の海産物を買求める多数の客でにぎわっていました。

志布志湾は豊かな漁場に恵まれ、チリメンジャコなどは全国的にも知られていますが、新たに天然ハモの産地として更なる知名度のアップにむけて、既存の施設を改修して直売所をオープンしました。

店内には、志布志湾の獲れたての新鮮なタイ、ブリ、タコなどの海産物のほか白菜、ジャガイモなど地元産の農産物が並んでいます。

■直売所「びろう」の問い合わせ先
Tel 47216211まで

さんふらわあ存続にむけた主な活動

12月4日	第4回志布志市議会12月定例会において、「さんふらわあ」志布志航路存続に関する決議を全会一致で可決する。
12月7日	県議会の一般質問（市ヶ谷議員）の中で、知事が商船三井トップとの会談を行う旨の答弁をする。
12月11日	大隅総合開発期成会事務局（鹿屋市）と、来年度の期成会における存続活動の内容等を協議
12月15日	第3回「さんふらわあ」志布志航路存続協議会を開催
12月21日	第2回「さんふらわあ」志布志航路存続対策検討会を開催
12月22日	(株)ブルーハイウェイライン西日本牟礼専務・佐藤常務・中村支店長が市役所を訪問、宮崎港寄港開始を平成19年10月1日とする旨の説明を受ける。



物流の動脈としてその影響が大きい「さんふらわあ」

志布志港に緑地を創るためのアンケートにご協力ください



■緑地ができるまで…

志布志港に、海に親しみ、交流広がる緑地をご一緒に創っていきませんか？

志布志湾港湾事務所では、市民の皆さまの多くの意見を募集します。



市民の皆さまに整備効果を調査する目的として新若浜緑地について意見をお聞きするため

1月中旬に約1,000人の方にアンケート調査を実施します。
～ご協力宜しくお願いします～



問い合わせ先
鹿児島県志布志湾港湾事務所 TEL473-1651 (松元)

■緑地ができると…

海が見える遊歩道で、散策やジョギングを楽しんだり、展望台からピロウ島を眺め、休憩スペースでお弁当を広げるなど様々な利用を計画しています。

また、広場では、子供達が自由に駆け回ったり、各種スポーツ、イベントにも利用できるようになります。



「さんふらわあ」

さんふらわあが志布志市にもたらす経済効果

「さんふらわあ」が志布志市にもたらす影響 長距離フェリー「さんふらわあ」志布志航路撤退に伴う鹿児島県への影響調査

平成18年10月、株式会社ブルーハイウェイライン西日本が、大阪と志布志間で運航している長距離フェリー「さんふらわあ」を平成19年3月末で志布志航路から撤退し、大阪と宮崎航路に変更する計画を発表しました。そこで「さんふらわあ」志布志撤退による影響を調査しました。

■物流面への影響

「さんふらわあ」は、物流面で生産誘発額72億6千2百万円、就業者誘発数426人の経済効果をもたらしていると推計されます。「さんふらわあ」志布志撤退で、この経済効果の一部が失われることとなります。



南九州の物流拠点の志布志港

■物流面での経済効果

「さんふらわあ」利用企業の声

「収穫地から消費地への出荷の時間が長くなると鮮度が落ち、価格も下落するのでフェリーの寄航地や出航時刻の変更は大きな問題」

「宮崎からの貨物の到着時刻が遅くなるのが問題。勤務時間の変更などの労務管理の問題が生じることになる」と考えている

「現在は、志布志港内をトレーラーヘッドで何度も行き来して各飼料工場へ運んでいるが、宮崎港着となる1台のトレーラーヘッドでは1、2往復するのが限界である。取扱量を減らすか、トレーラーヘッドを増やすかの選択となる」

「飼料原料の輸送コストアップは最終的には畜産農家に影響するので、大隅地域の畜産業の価格競争力にとってマイナス要因となるのではないか」

「下り便で養殖用の生餌を運んでくる業者には痛手。生餌の運送単価は安いので、「さんふらわあ」が利用できるなくなるのは厳しい」

「さんふらわあ」が宮崎にシフトする場合、現在の出航時刻（18時）では、まず間に合わない。また、都

城インターチェンジから高速道路を利用することになると思いますが、高速道路料金や燃料費の追加負担が生じる」等の声がありました。

■人流面への影響

県の観光統計等から推計すると、平成17年に「さんふらわあ」を利用して鹿児島を訪れた県外宿泊観光客は約6万3千人で、観光消費額は18億5千万円に達します。この観光消費額18億5千万円の経済効果（生産誘発額）を試算すると、合計で



昭和52年就航当時から志布志港のシンボル「さんふらわあ」

32億5百万円との結果が得られました。「さんふらわあ」志布志撤退で、この経済効果の一部が失われることとなります。

■利用客の県内消費による経済効果

地元企業の声

「宿泊利用は、観光客が主で、帰省客、ビジネス客等もいる。特に志布志サッカーフェスティバル関連では、京都、奈良、滋賀からは、バスごと「さんふらわあ」で来て、多数当施設にも宿泊した。また、夕方「さんふらわあ」出港時間前のレストラン利用が多い」

「さんふらわあ」のレストラン、売店に、ビール・焼酎を納品しており、売上減が予想される」

「さんふらわあ」で来港した観光客で焼酎蔵の見学を訪れる人が月にバスで5、6台ある。また、船の待ち時間に立ち寄る人もいる。撤退すると、工場見学者が減少すると考えている」

「利便性が高いので大阪本社と志布志工場間の出張に利用している。撤退すると時間及び費用面で影響がある」等の声がありました。

■その他の影響

食料供給基地への影響
関西・名古屋地区からはビール粕、ふすま等の配合飼料の副原料が「さんふらわあ」によってほぼ毎日輸送され、志布志港に隣接する配合飼料コンビナートに搬入されています。



地球にやさしいこと
はじめよう！

ごみを宝物に
まさにバイオマスを使わないことは「もったいない」ことです。「混ぜればゴミ、分ければ宝物」です。特に「生ごみ」がその代表選手です。生ごみの堆肥化もバイオマスの活用です。

埋め立てごみ8割減
生ごみを以前は埋め立てたり焼却処分をしていましたが、今は分別収集をしています。そして草木と混ぜて堆肥「循環ちゃん」を製造しています。これもバイオマスの活用なのです。

この循環型社会に向けて、自然の恵みによりもたらされる持続的に再生可能な資源であるバイオマスは、とても重要な役割もっています。

21世紀は環境の世紀！未来の子ども達に美しい地球を残すことは今を生きる私たちの責任です。

『バイオマス』の利活用を！！

最近、テレビや新聞などでバイオマスという言葉に触れることが多くなりました。そこで、今月はバイオマスについて簡単な説明をします。循環型社会の実現のためにバイオマスは必要不可欠なものです。我慢するだけのエコロジーから創造するエコロジーへの転換のためにも重要な技術です。

市では様々な環境問題にも取り組んでいますので、市民の皆様が疑問に感じることや分からないことがありましたらお気軽に環境政策課まで問い合わせください。

また、独自のエコロジーのアイデアなどありましたらお知らせください。

国も生ごみの分別収集を明記
国は、「バイオマス・ニッポン総

志布志市の生ごみ循環の様子



市民・事業者・行政の共生・協働
私たちは、28品目の分別排出をしています。このことが、環境にやさ

生ごみをはじめ資源ごみの分別排出が進んだことで、埋め立てゴミの量が8割減りました。これは市民の皆さんの協力の賜物です。そして皆さんの「誇り」と思ってください。他にも、廃食油を精製しての軽油代替燃料化（BDF）、木製家具・畳の燃料化（RPF）などの取り組みをしています。

合戦略」の中で、生ごみの分別収集のことを明記しています。

2030年を見据えた姿を提示し、その中で「国民一人ひとりに、バイオマスは資源として活用されるものであるとの意識・生活習慣が定着し、生ごみは分別収集され、肥料やエネルギー利用が進む。」と記載されています。

バイオマス利活用の構想策定中
そういう願いをこめて、市では市内のバイオマスの量を調査し、今後どのように活用していくか構想を策定中です。構想がまとまりましたら、また紹介します。

また事業者・企業も、今は環境のことを考えて活動しなければ、社会から支持されないでしょう。志布志市には、そういう市民・事業者がいろいろいるという町にしたいですね。

行政も基本は「環境にやさしい」です。このことが新しい産業を創り出しそして商工業や農林漁業の活性化につながっていくと思えます。



バイオマスで動く自動車の説明風景

「バイオマス」って何？
昔から、薪は燃料としてお風呂を沸かすなどに利用されてきましたが、この薪も一種のバイオマスです。

家畜のふん尿、生ゴミ、木くずなど動物植物から生まれた有機性資源のことを「バイオマス」といいます。

このバイオマスの利活用が最近注目されています。それは、地球温暖化防止と循環型社会の形成に大きく関係するからです。

バイオマスエネルギーとは、バイオマスを原料として得られるエネルギー

バイオマスを具体化したサンサンひまわりプラン

地球温暖化の防止に貢献
地球温暖化は、石油や石炭などの化石燃料を燃やして二酸化炭素が発生し大気中に放出されることにより、引き起こります。

循環型社会の形成を
リサイクルが叫ばれる前までは、物を大量生産し、大量消費し、そして大量廃棄するという一方通行の社会システムでした。

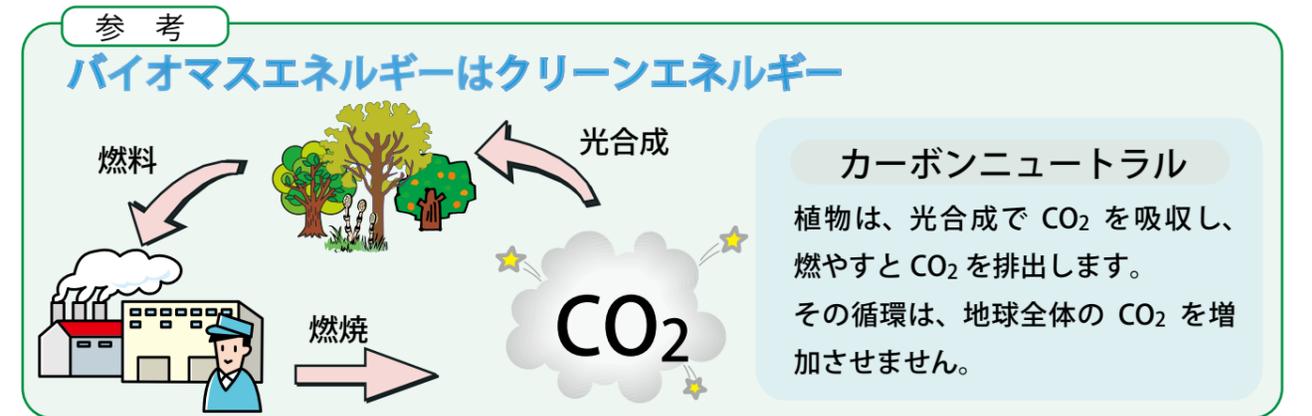
しかし、今は違います。

この一方通行の社会システムを改めて、再生可能なエネルギーを利用していかうという社会の動きになっています。「循環型社会形成推進基本法」という法律ができています。

単に燃やすだけのエネルギーから、科学的に得られたメタンやメタノールなどで自動車を動かしたり発電に利用するエネルギーまで、利用分野が広がっています。

この化石燃料由来のエネルギーをカーボンニュートラルなバイオマスエネルギーに替えることにより、地球温暖化を引き起こす二酸化炭素の削減に大きく貢献することができま

ゼロエミッション志布志

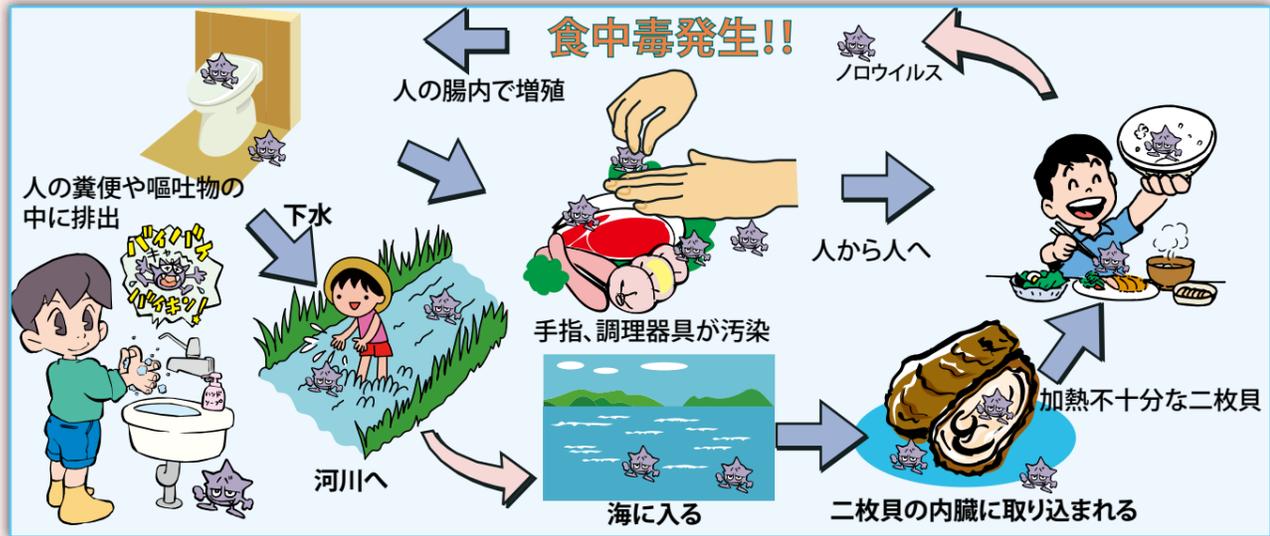


ノロウイルスにご用心!

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、1年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。日常生活から予防を徹底し、注意点を覚えておきましょう。

■ノロウイルスとは・・・

ノロウイルスは、手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛を起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化することがあります。有効なワクチンはなく、また、治療は輸液などの対処療法になります。



ノロウイルスに有効なワクチンはありません。予防が大切です

■予防① 手洗いを心がけましょう

食事の前、トイレの後、調理をする際には、必ず手を洗いましょう。指輪などをはずし、せっけんを泡立てて丁寧に洗い、清潔なタオル又はペーパータオルで拭きます。

■予防② 加熱が必要な食品は十分に加熱しましょう

食品の中心温度 85 度以上で 1 分間以上加熱を行えば、感染しないとされています。特に二枚貝（カキ、大アサリ、シジミ、ハマグリ等）はよく水洗いし、十分加熱しましょう。

■予防③ 衛生管理に注意しましょう

感染患者の便や嘔吐物には大量のウイルスが排出されるので、適切に処理し感染を広げないようにしましょう。処理後は十分に手洗いしましょう。

■予防④ 調理器具等は使用後に洗浄、殺菌しましょう

アルコールや逆性せっけんの消毒効果は、ノロウイルスに対して十分ではありません。次亜塩素酸ナトリウム（家庭用漂白剤）か、熱湯消毒が有効です。



← 12月13日 健康ふれあいプラザ 5歳児歯科健診の虫歯の無い子ども達

→ 12月7日 やっくふれあいセンター 5歳児歯科健診の虫歯の無い子ども達



■健康についての様々な相談にいつでも応じています。お気軽にお問い合わせください。

本庁保健課 Tel 474-1111 志布志支所福祉課 Tel 472-1111 松山支所福祉課 Tel 487-2111



楽しくスポーツを生活に取り入れましょう（ミニバレー）

健康づくりのための運動

自分の体力や楽しみにあった長続
メタボリックシンドロームは腹囲（空腹時のへそ周り）が男性85センチ以上、女性90センチ以上であるかどうか、併せて血中脂質や血圧そして血糖の検査値を判定基準とします（詳しくは12月号をご覧ください）ご自分の腹囲を測ってみましたか？ズボンやスカートのサイズとは少し違いますが一度測ってみることをお勧めします。

習慣づける

時間が取れない場合は生活の中で意識して体を動かす習慣をつけましょう
・仕事の合い間などちょっとした時間に体を動かす癖
・近頃の用事は車でなく徒歩や自転車で行く癖
・テレビのスイッチはリモコンでなく体を動かす癖
・毎日のために掃除する癖
・休みの日には気分転換に散歩や運動する癖
・歩くときに大きく手を振り早歩きする癖
一日一日では足りない運動も週単位で考えて、できる日に行うようにしてもけっこうです。

喫煙は、血管にダメージを与えて動脈硬化を悪化させる作用があります。また、ストレスは生活習慣病だけでなく様々な病気の引き金になります。自分にあつたストレス解消法を見つけましょう。
メタボリックシンドロームの条件である血中脂質や血圧・血糖の値は「やや高め」というのが特徴なので薬を使うほどではありません。
食事と運動を中心に生活習慣を見直し継続することがメタボリックシンドロームのただひとつの薬です。基準値（12月号参照）が当てはまる方だけでなく、予防の意味からも家族や地域・職場の皆さんで話題に取り上げて運動に取り組んでいただきたいです。
内臓脂肪を減らすには、おおいに体を動かし規則正しい食事を摂ることが基本です。次回は「食生活」についてです。お楽しみに・・・



ストレス解消法を見つけましょう



メタボリックシンドロームについて②（運動編）

生活の中での注意

生活の中での注意
喫煙は、血管にダメージを与えて動脈硬化を悪化させる作用があります。また、ストレスは生活習慣病だけでなく様々な病気の引き金になります。自分にあつたストレス解消法を見つけましょう。
メタボリックシンドロームの条件である血中脂質や血圧・血糖の値は「やや高め」というのが特徴なので薬を使うほどではありません。
食事と運動を中心に生活習慣を見直し継続することがメタボリックシンドロームのただひとつの薬です。基準値（12月号参照）が当てはまる方だけでなく、予防の意味からも家族や地域・職場の皆さんで話題に取り上げて運動に取り組んでいただきたいです。
内臓脂肪を減らすには、おおいに体を動かし規則正しい食事を摂ることが基本です。次回は「食生活」についてです。お楽しみに・・・

手軽にできるエクササイズ

『大腿部（太もも）背面と臀部（おしり）』

- ①背筋を伸ばし、腰の位置を固定したまま、お尻の下の方に力を入れる。
 - ②3秒間かかとかから足を後ろへ上げ、1秒間姿勢を保持する。
 - ③3秒間で足を元に戻す。
- ※上半身が前傾しないようにする。
※足を上げる際は腰を反らさない。
※椅子に体重をかけない。

『大腿部（太もも）前面と大腰筋』

- ①肩幅に開いた足をハの字に開き、背筋を伸ばし、両腕を前に伸ばす。
 - ②つま先と膝が同じ方向に曲がることを確認しながら、3秒間で椅子に座るように膝を曲げ、1秒間姿勢を保持する。
 - ③3秒間で元の姿勢に戻す。
- ※膝がつま先より前に出ないようにする。
※下を向かないようにする。

『速歩の理想的なフォーム』

- 視線は遠くにあごは引く
肩の力を抜く
胸を張る
背筋は伸ばす
足を伸ばす
かかとかから着地
腕は前後に大きく振る
歩幅はできるだけ遠く

Vol4. 新地亮平さん



くよくよしても仕方がない・・・だから前向きに生きるんです

新地亮平さん（25歳、志布志町帖）は志布志市社会福祉協議会で事務一般をこなし、車いすマラソンや釣り、ビリヤード、ボーリングなど身体を動かすことが大好きな若者です。一般的な若者と違うのは、車いすに乗っていることだけです。新地さんは、高校3年生の12月にオートバイで事故を起こしました。事故を起こして暫くは歩けなくなるとは考えずリハビリに励んでいましたが、霧島労災病院に転院して間もなくその事を知り、リハビリも手に付かなくなると言います。しかし、自分よりも長い間苦しみながらもリハビリに懸命に励んでい



マラソン大会に参加するなど、積極的な活動で障害を持つ人に夢と希望を与えています。

る人と接しているうちに「くよくよしていても仕方が無いし、何も解決しない」と気がつき、前向きに物事を考えられるようになりました。その後、北九州の職業能力開発校で建築の勉強を行い、大分の企業に就職しましたが、人間関係や障害のために悩み、もっと自分にしかできないことがあるはずと帰郷し、社会福祉協議会で働くようになりました。現在は、素敵な仲間にも恵まれて仕事も私生活も充実しています。「現在の仕事では、自分が歩けないというハンディを持つからこそ見えるものがあるのに、障害者の要望を積極的に訴えていくことができている」と、まだまだ勉強不足だと話します。物理的な障害と人の心の中にある障害を取り除き、真のバリアフリー社会の実現に向けて新地さんは、今日も愛用の車いすで、まちを走り回ります。



素晴らしい仲間に出会い、普通に仕事ができることが幸せだと話す新地さん

みんなでつくる共生・協働のまちづくり

NPO 『三方良』

特定非営利活動法人（NPO）「三方良」（脈岡良平理事長）は、県内の様々な地域に生活する人に対し、より良いまちづくりを目指し、経済活動活性化促進や環境保全、小規模事業者の育成、支援を図っています。また、商業、公務員、農業、建設業など職種もさまざまな40人が参加しており「自分たちの仕事や経験を通じ、市民のためになる提言を行っていききたい」としています。



交通量が多い中で、多くの賛同者のごみ拾いを行いました

- 三方良の主な事業
 - ①大隅半島における、よりよきまちづくりをする事業
 - ②志布志湾を活用した国内外交流交易、貿易に関する事業
 - ③小規模事業者の育成、支援に関する調査研究事業
 - ④志布志湾を利用するイベントの支援事業
 - ⑤自然災害時における救援活動事業
 - ⑥地域内における環境を守り育成する事業
 - ⑦公の施設の運営管理に関する事業

「官・民・社会 良くしたい」

12月16日、志布志湾道路クリーン作戦を三方良が行いました。「さんふらわあ」の撤退を報道等で知った三方良は「市民として何かできないか」と考え、湾岸道路をきれいにし、年末年始に関西方面から志布志を訪れる人々にきれいなまちをアピールしようとクリーン作戦を企画しました。当日は、クリーン作戦に賛同した多くのボランティアの参加もあり、約2時間の清掃活動で、空き缶やビニールなどのほか粗大ごみなどがトラックいっぱい集められました。参加された皆さんお疲れ様でした。

輪っことしぼし

志布志市青年団連絡協議会

「みなさんこんにちは！有明サマーフェスティバルの司会で有名な僕です」と、おどける末田裕樹さんは昨年10月に設立した、志布志市青年団連絡協議会の初代会長です。設立当初は7人でスタートした青年団も現在は20人程に増えましたが、末田さんは「100人位若者を集めて志布志市の一大勢力にしたい」と抱負を話します。



スポーツイベントなどにも積極的に参加

青年団では、楽しく、元気に志布志市を盛り上げようと考えながら、志布志市の若者が協力しあえば更に充実した活動を行えるのではないかと思っています。インターネットや携帯電話の普及



特色ある活動を行っています（写真前中央が末田さん）

で、人々のコミュニケーションが希薄なモノになってきている現代だからこそ「人が集う意味・皆で一つのことをやり遂げる感動」を一人でも多くの人に知ってもらいたいと各種イベントの参加を中心に活動を行っています。そんな末田さんの夢は、平成17年度まで青年団主催で、31回続いた「サマーフェスティバル」の復活です。「やっている時は大変だったけど、無くなるよなんだか心の中に大きな穴が空いたみたいですよ」と話します。なりたいたい自分、輝いている自分をイメージしていけば、今やるべきことが見えてくると思います。一緒に青年団をやってみませんか？

■青年団活動に興味のある方は
TEL 47211111（市教育委員会まで）

キャッチフレーズ：(宇)宙の(都)人として、宇宙の中で一番上品で、一番賢くて、一番優しくあれ



生徒会生活部による朝のあいさつ運動の様子

宇都中学校は、蓬原・原田・野神・山重の4小学校区から成り、菱田川沿岸、田原川沿岸の水田地帯と蓬原開田による広大な水田地帯の大地が広がった自然豊かな場所にあります。

生徒は、純朴で明るく素直な生徒が多く、あいさつをよくします。ほとんどが自転車通学生でP T A 保体部も協力して交通安全指導に力を入れています。部活動も部活動顧問の指導のもと練習に熱心に取り組んでいます。吹奏楽部は市ふるさとまつり等で演奏を披露し、大変喜ばれています。

また、思いやりのある心やさしい生徒の育成を目指してボランティア活動や福祉に関わる活動も生徒会を中心に積極的に活動中です。今年のP T A 活動においては「1人はみんなのためにみんなは1人のために」を合いことばに一丸となって環境整備や教育活動に努力しています。`愛`足を運ぶこと、

基礎学力の向上

平成18・19年度は地区の研究指定を受け、基礎学力向上に取り組んでいます。教科指導において学習のしつけの徹底、学習過程の導入・展開・終末の工夫、学力分析にもとづく課題のほりおこしとその具体策及び実践など全職員で共通理解を図りながら、個々の生徒の学力向上に向けた取組を推進しています。

特に英語・数学においては、少人数指導や個別指導を取り入れ、わかる・できる喜びを味わせる授業展開を図っています。写真は、ICT活用におけるデジタル教科書を活用した研究授業の様子です。生徒が目を輝かせ、生き生きと授業に取り組む姿がみられ学力向上に役立っています。



ICTを活用した授業の様子



(写真：寒い中でも元気いっぱいの宇都中学校3年生の皆さん)

校訓：向学・強健・友愛	<table border="1"> <tr> <td>校長</td> <td>佃 正和</td> </tr> <tr> <td>生徒数</td> <td>179人</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td>6学級</td> </tr> <tr> <td>P戸数</td> <td>160戸</td> </tr> </table>	校長	佃 正和	生徒数	179人	学級数	6学級	P戸数	160戸	宇都中学校
校長	佃 正和									
生徒数	179人									
学級数	6学級									
P戸数	160戸									

<table border="1"> <tr> <td>校訓 (めざす子ども像)</td> <td>校長 岩下 昌弘</td> <td rowspan="4">泰野小学校</td> </tr> <tr> <td>○進んで考える子 (自ら学ぶ意欲をもち絶えず工夫し、進んで勉強する子)</td> <td>児童数 82人</td> </tr> <tr> <td>○心の美しい子 (礼儀正しく、思いやりがあり、広い心で仲良くする子)</td> <td>学級数 7学級</td> </tr> <tr> <td>○健やかでねばる子 (心身ともに健やかで根気強く、最後までやり抜く子)</td> <td>P戸数 58戸</td> </tr> </table>	校訓 (めざす子ども像)	校長 岩下 昌弘	泰野小学校	○進んで考える子 (自ら学ぶ意欲をもち絶えず工夫し、進んで勉強する子)	児童数 82人	○心の美しい子 (礼儀正しく、思いやりがあり、広い心で仲良くする子)	学級数 7学級	○健やかでねばる子 (心身ともに健やかで根気強く、最後までやり抜く子)	P戸数 58戸	
校訓 (めざす子ども像)	校長 岩下 昌弘	泰野小学校								
○進んで考える子 (自ら学ぶ意欲をもち絶えず工夫し、進んで勉強する子)	児童数 82人									
○心の美しい子 (礼儀正しく、思いやりがあり、広い心で仲良くする子)	学級数 7学級									
○健やかでねばる子 (心身ともに健やかで根気強く、最後までやり抜く子)	P戸数 58戸									

(写真：泰野小学校の皆さん)



みんなの学び舎

志布志市松山町のほぼ中央に位置し、自然に恵まれた豊かな環境にあります。校区内に社会福祉施設(あけぼの園、特養やっちく)、文化施設(やっちくふれあいセンター)があり、各方面で利用・活用されています。

「花と読書で思い、考え、ひらめく泰野の子」をキャッチフレーズに、保護者・校区の方々の絶大な協力のもとに教育活動を行っています。

<p>基礎学力の向上</p> <p>本年度は、算数科の基礎学力の向上を目指して取り組んでいます。学習の仕方が身に付きつつあり、基礎的・基本的事項の確実な定着が図られています。</p>	<p>校区合同秋季大運動会</p> <p>毎年、泰野校区自治会と合同で秋季大運動会を開催しています。校区対抗綱引き、紅白リレー等校区民全員で大いに盛り上がりました。</p>	<p>「やっちく松山藩 秋の陣まつり」へ出店</p> <p>全保護者の協力のもと、学校農園やP T A 農園で収穫した芋を使って、かりんとう・がね・やき芋を販売しました。今年も好調な売れ行きでした。</p>
---	--	---

「かった、酔くろたごたい！」
手づくり焼酎づくりに感動

世の男性にもっと生涯学習に参加してもらおうと、志布志市生涯学習センターでは、6月から「だいやめ講座」を開設しました。

現在、生涯学習講座の男性の参加が17割台で低く、「男性が興味のある講座はないか」「講座がある時間にだいやめをして参加していない」などの意見があり、そこで、だいやめに欠かせない焼酎づくりの講座を開設したところ、女性5人を含む27人が集まり、米づくりからスタートしました。

仕込みをした12月10日は、6月に植えたカライモの収穫に始まり、市内の若潮酒造協業組合（代表理事 戸直一氏）の協力で同組合の焼酎づくり体験館「千刻蔵」に3トのイモを持ち込み、イモ洗いから、調理、仕込みの工程を行いました。

講座生の室屋賢三さんは「自分たちが植えたイモで焼酎作りが体験でき、感動しました。今度は子どもたちと焼酎作りができたらいいな」と話しました。また、岩満美子さんは、蔵の仕込みの匂いも手伝って「かった、ひっち酔くろたごたい。ビンタが痛くなった」と、借りてきた猫みたいでした。



講座生の思いのつまった焼酎がもうすぐ完成します

同じく、受講生として参加した木弘文生涯学習センター所長は「自分が飲む焼酎作りを仕込まで体験でき、ますます焼酎が好きになった。今夜からの『だいやめ』が更に進みそうです」と満面の笑みでした。

生涯学習こだわりの焼酎は、3月に誕生予定、「創年（人生を創造的に生きる中高年の意）の志」と命名し、生涯学習のネットでも全国に発信したいと講座生の目は輝いていました。



子ども達は志布志市を離れ様々なことを学びました

「山形県酒田市」解団式

12月22日から26日にかけて、市内の小中学生8人が、山形県酒田市に雪国留学をしました。その解団式が12月26日、志布志支所1階会議室で行われました。

7月末に友好都市山形県酒田市（旧松山町）の子ども達が志布志市を訪れホームステイを行いました。が、今回は市内の子ども達が酒田市にホームステイを行い、スキーやスケートなどを体験しました。

団員代表市報告では泰野小学校6年の宮田将吾さんが「様々な体験ができました。この経験を生かしていきたい」と話しました。研修については市報の2月号で紹介されます。



■主な内容 研究発表・質疑応答
学級PTAの部 地域PTA（子ども会）の部
専門部PTAの部

■講演 「食」に関する講演会
講師：元県学校給食会技術主査 中西智美氏

■問い合わせ先 山重小学校 Tel 475-0055

有明ブロックPTA活動研究委嘱公開について

昨年度まで、有明町PTA連絡協議会主催で開催してきた研究公開を、今年度まで有明ブロックとして開催することになりました。

今回は、志布志地区・松山地区PTAからも参加をいただき、学校・家庭・地域の連携をはじめとするPTA活動の充実について話し合いを深めることになっています。

■日時 1月27日（土）
■時間 午前9時30分～午後12時
■場所 山重小学校多目的ホール

「おにぎり大作戦」
ポスター・標語コンクール作品募集

■締切日 2月7日（水）
■提出先 志布志市教育委員会生涯学習課・各教育支所
■応募資格 市内幼児から高校生まで
■絵画サイズ 4つ切り、または8つ切り
■標語用紙 提出先の窓口、及び各小中学校で配布します
■その他 表彰・展示を今後行う予定です。（参加賞あり）
■問い合わせ先
教育委員会生涯学習課 Tel 472-1111（内線 253）

夜回り先生人権教育講演会
高校生スタッフ募集！！

志布志市教育委員会では2月24日（土）午後2時から志布志市文化会館にて夜回り先生でおなじみの水谷修先生を迎え、人権教育講演会を開催します。

この講演会は高校生が主体になり、企画から当日の運営まで行う計画です。

■募集人数 高校生20人（やる気のある人）
■申込み・問い合わせ先
教育委員会生涯学習課 Tel 472-1111（内線 265）

志布志の春を駆けぬける
しぶしपोर्टマラソン2007

平成19年3月18日（日）

しぶしपोर्टマラソン2007は、発展・整備の進む志布志港と志布志湾を背景に走る3km・5km・ハーフマラソン・ファミリーコース（1.5km）のほぼ平坦コースで行われます。

ご家族、職場の同僚、また友人等と誘い合わせて参加し、健康増進と市を越えて広く交流の輪を広げませんか。



- 種目 ハーフマラソン 21.0975km 9:30 スタート
3km 9:35 スタート 5km 9:40 スタート
ファミリーコース（1.5km） 9:45 スタート
- 制限時間 ハーフマラソン3時間（その他関門として10km→1時間30分、15km→2時間30分）
- 参加資格 小学生以上の健康な方。（ハーフは18歳以上）
- 参加料 一般 2,000円 高校生以下 1,500円
ファミリーコース 2人 1,500円
（3人 3,000円 4人 3,500円）
ハーフマラソンコース 3,000円
- 申込期限 平成19年2月16日（金）当日消印有効
※詳細につきましては大会事務局までお問い合わせください



待望のハーフマラソンの部も新設！
出場者募集中！

<http://www.runnet.jp> でもエントリーできます

- 申込期限 平成19年1月31日（水）当日消印有効
- 申込・問い合わせ先 しぶしपोर्टマラソン大会事務局（志布志市教育委員会生涯学習課内）
Tel 099-472-1111（内線 254）
- ※申込書は教育委員会事務局・各教育支所・市内体育施設にあります。

おにぎりおやつで元気もりもり！ おにぎり大作戦推進プラン

■問い合わせ先 教育委員会生涯学習課 TEL 472-1111 (内線265)

食育について、朝食の大切さや、生活リズムとの関係などについて2回にわたり掲載してきましたが、今回は栄養面について目を向けてみたいと思います。

朝食の欠食は、1回の食事の摂取量が多くなり、過食につながるものとなり、子どもたちの肥満を助長します。国民栄養調査による肥満の割合は、9～11歳の男子では、1976-1980年では8.4%でしたが、1996-2000年には15.0%と急激に増加しています。女子でも、同様に7.5%から12.2%と増加しています。さらには、朝食の欠食は、午前中のエネルギーの供給が不十分となり、体調が悪くなることなどが指摘されています。

また、本市の調査結果からもわかるように、好き嫌いの

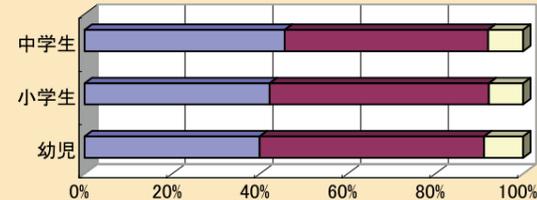
ある子どもの割合は、全体の6割と多くの子どもが偏食の可能性を秘めていると言えます。子どもたちに食材への感謝の気持ちを育てるとともに、栄養バランスを考えた食事を提供することも大切なことです。その指標となるのが、「食事バランスガイド」です。これは、健康で豊かな食生活の実現を目的に策定された「食生活指針」(平成12年3月)を具体的に行動に結びつけるものとして、平成17年6月に農林水産省と厚生労働省により決定されました。「食事の基本」を身につけるための望ましい食事のとり方やおおよその量をわかりやすく示しています。それぞれのご家庭での食事にいかしてほしいと考えます。

志布志市の子どもたちは・・・

「食育」に関するアンケート調査(平成18年10月実施、対象:志布志市内幼児～中3、回収数合計2566人)結果より。

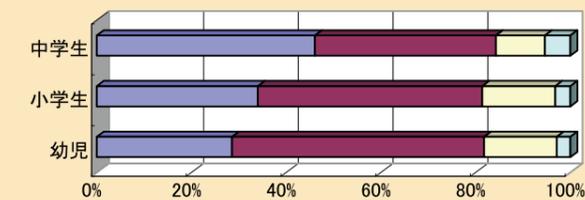
食事は何でもよく食べますか？

■何でもよく食べる ■好き嫌いが少しある □好き嫌いが多い



朝食はご飯とパンのどちらを食べますか？

■毎朝ご飯 ■ときどきパン □ときどきご飯 □毎食パン



食事バランスガイド 知ってこめ！

あなたの食事は大丈夫？

1日分

- 5.7 主食(ごはん、パン、麺) 200g ごはん(中量)が2杯から4杯程度
- 5.6 副菜(野菜、豆、海藻類) 200g 野菜が3杯程度
- 3.5 主菜(肉、魚、卵) 200g 肉・魚・大豆料理から3回程度
- 2 牛乳・乳製品 200ml 牛乳が1杯程度
- 2 果物 200g みかんが1杯程度

朝ごはんは何で大切なの？

- 眠っている間に下がった体温を上げて、体を目覚めさせる。
- 脳へのエネルギー源であるブドウ糖を補給する。
- 胃や腸を刺激して、体のリズムを整える。
- かむことで、脳に刺激を与える。

食事バランスガイドをご存知ですか？

「何」を「どのくらい」たべたらよいかをイラストで示したのが、左のガイドです。食事を主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物の5つの区分に分け、区分ごとに1日にどれだけ食べたらよいかを表しています。全体はコマの形をしていて、軸は水分、コマの回転は運動を表しています。どれかが欠けても多すぎてもバランスが悪くなり、コマは倒れてしまいます。また、コマをまわすひもは、お菓子や嗜好飲料です。「楽しく、適度に」を心がけましょう。

どんな朝食がいいのかな？

ごはんなら・・・朝食は炭水化物の主食をしっかり食べて、脳のエネルギーとなるブドウ糖を補給しましょう。主菜や副菜などのおかずと組み合わせて。時間がないなら、おにぎりや野菜と卵の入った味噌汁でいろいろな栄養素がまとめでとれます。

パンなら・・・ウインナーと野菜のスープ煮、フルーツヨーグルトなどの組み合わせで、食物繊維もとれます。

教育委員会情報ネット

スペシャルツアー～友の唄が聴こえる～ 南 こうせつコンサート

2007.2.18(日) 志布志市文化会館
チケット好評発売中! 開場 17:30 開演 18:00
全席指定 S席 5,000円(税込)・A席 4,500円(税込)
■前売券 市文化会館で好評発売中!
■問い合わせ先 市文化会館 (TEL 472-3050)



佐賀のがばいばあちゃんでお馴染みのB & B 島田洋七氏 「おばあちゃんと今の俺」

■日時 平成19年2月22日(木) 開場 18:30～ 開演 19:00～
■場所 志布志市文化会館 ■前売券 500円(自由席)
■問い合わせ先 志布志市文化会館 TEL 472-3050
※前売券好評発売中!(市文化会館・やっちくふれあいセンター・農業歴史資料館・島津・くにみ書店・三味堂・アピア)



劇団四季ファミリーミュージカル志布志市公演 『王子とこじき』

■公演日 平成19年2月3日(土) 開場 18:00 開演 18:30
■会場 志布志市文化会館
チケット好評発売中!
■入場料 S席 4,000円 A席 3,000円 B席 2,000円 C席 1,000円
■プレイガイド 島津/くにみ書店/三味堂/サンポートしづしアピア/市文化会館/やっちくふれあいセンター/有明農業歴史資料館
■問い合わせ先 志布志市文化会館 TEL 472-3050



曾於地区教育振興大会のお知らせ

～鹿工を夏の甲子園ベスト4に導いた中迫監督が来市～
■日時 1月20日(土) 8:45～11:55 ■場所 志布志市文化会館 ■参加 どなたでもご自由に参加ください
■内容 教育功労者表彰 ■講演 「～夢の舞台 甲子園～」 講師:中迫俊明氏(県立鹿児島工業高等学校硬式野球部監督)
■問い合わせ先 志布志市教育委員会生涯学習課 TEL 472-1111 (内線265)

～応援します!!あなたの生きがいがづくり 仲間づくり～

平成18年度 志布志市生涯学習フェスティバル 2月24日(土)～25日(日) 志布志市文化会館

■24日(土) 生涯学習推進大会 開会行事・表彰・生涯学習まちづくり講演会
■25日(日) 生涯学習グランドフィナーレ 講座舞台発表・生涯学習ふれあい体験など
※開催期間中、ホールや会議室にて各機関パネル・講座生作品を展示しています。
※生涯学習の2日間を楽しんでください。

第1回志布志市生涯学習のまちづくり

花いっぱいコンクール

～職場・地域・学校・家庭であなたも応募参加してみませんか～
■応募締切 2月9日(金)
●学校の部
●地域・職場の部
●家庭花壇の部
●ガーデニングの部



つけもの名人コンクール

～世界にオンリーワンのあなただけの味を～
つけもの名人募集!
■作品納入日 2月24日(土)
■納品場所 生涯学習センター
■審査日時 2月25日(日)11時から14時
■審査方法 一般投票により決定します

■問い合わせ先 志布志市生涯学習センター TEL 472-3050

今月のテーマ図書 今年の干支「亥」



今月のテーマ図書 「編み物」



図書館へ行こう

新刊案内

■「使命と魂のリミット」 東野圭吾 著



心臓外科医を目指す有紀は、誰にも言えないある目的を胸に秘めていた。その目的を果たすべき日に、手術室を前代未聞の危機が襲う。あの日、手術室で何があったのか？今日、何が起きるのか？心の限界に挑む医学サスペンス。

■「ゆくとしくるとし」 大沼紀子 著



神様、私はなにを祈ればいいのでしょうか？年末、久しぶりに帰省すると、そこには、母と、明るくたくましいオカマのお姉さんがいた。ヘッポコ助産所で生まれる、母とオカマと私の物語。「坊ちゃん文学賞大賞(第9回)」

毎月23日は「子どもといっしょに読書の日」

図書館情報



★BOOKS

休館日カレンダー (本館)
January 1月
February 2月

- 休館日
○かみふうせん読み聞かせ会 14時～
○毎月第4土曜日読み聞かせ会 14時～
■新春カルタ会のお知らせ
志布志分館
1月13日(土) 14時～



読書の素晴らしさを広める『かみふうせん』の皆さん

図書館でクリスマス読書会！
12月23日、市立図書館で図書館職員とボランティアグループ「かみふうせん」によるクリスマス読書会が開催されました。
人形劇・大型絵本・ブラックパネルシアターなど、読み聞かせが始まると、集まった約50人の子どもたちは静かに聞き入っていました。
また、志布志市で活動しているシンガーソングライター「hitotri(ひとり)」によるクリスマスソングのプレゼントや、サンタクロースからのプレゼントもあり、子どもたちは楽しいひとときを過ごしました。

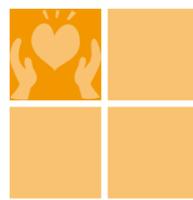
松山分館・有明分館休館のお知らせ

市立図書館の松山分館及び有明分館は、図書館システムの電算化に伴う準備のため、平成19年1月から平成19年3月まで休館させていただきます。休館中は利用者の皆様にはご迷惑をかけますが、ご理解とご協力をお願いします。
なお、休館中は本館及び志布志・香月・安楽の各分館をご利用ください。

電算システム化に伴う市立図書館の全体計画

Timeline table showing library operations from January to April. It indicates closure for the main branches and the start of new system operations for all branches by April.

※新システムに移行するため、本館及び志布志・香月・安楽分館の各分館におきましても2月25日(日)～28日(水)までの4日間休館させていただきます。



男女共同参画社会の実現を目指して

男女で作るうるおいと活力あるまち

Vol.10



多くの留学生を預かるなど心の通った交流を続ける中村さん

心通った交流を続ける『カレンの会』

中村睦子さん(有明町)はケアマネージャーとして勤務しながら、行政相談員、民生委員と様々な分野で活躍しています。
特に自身が主催している、少数山岳民族の自立活動を支援している民間団体「カレンの会」では、中高生等とタイ北部にある村を訪れるなどの交流を続けています。
ホームステイしながらの交流では日本から持ち込んだ古着や靴をプレゼントし、大変喜ばれています。また、現地の手工艺品を持ち帰り、その売上を次回の訪問時に届けます。

発展途上国では1万円あれば1人の子どもが学校に通えます。そんな現実を1人でも多くの人に知ってもらいたいと、この活動を続けています。
夫の駿さんは「妻は以前は看護師の仕事をしており、夜勤も多く、育児や家事はお互い協力しながら行っていました」と話します。
睦子さんの様々な活動についても陰で支え、民生委員の相談に訪れる方のために障害者用トイレを設置しようと相談を受け「リラックスできる相談場所もあったほうが良いのでは」と、車いすの方でも利用できるバリアフリーの『喫茶カレン』を有明町蓬原の『蓬の郷』近くに建築しました。
この建物は、以前身障者をテーマにしたドラマでセットを作ったバリアフリー専門のスタッフが建築したもので、窓の高さ等、車いす利用を意識したものになっています。
喫茶カレンは300円で一般の方も利用ができるため、高校生等も相談に訪れてゆっくりとした時間を過ごしているそうです。
おふたりに男女共同参画について尋ねると「協力したほうがお互い楽だし、幸せです。難しく構えず自然体でお互いを尊敬し続けることが大切だと思います」と話されています。



平成18年度生き方講座 受講者募集のお知らせ

「あなたの心と私の心」
生き方講座
～男と女、上手に向き合うために～
女らしさって何？男らしさって何？
・男、女のここが理解できない
・お互いを理解するにはどうすればいいか
・私を不自由にしているものって何？

- 日時 2月4日(日)、2月18日(日) 13:30～16:30 2回シリーズ
講師 平川忠敏さん(鹿児島大学教授) 平川真理子さん(NPOメンタルケア鹿児島代表)
会場 かごしま県民交流センター 東棟3階 大研修室1
定員 50人(定員を超えたら抽選)
参加料 無料
申込方法
※電話、FAX、またはEメールで氏名・住所・年齢・電話番号をお知らせください。申込締切は1月30日(火)です。
※託児(6か月以上～小学校低学年まで)を希望される方は事前にお申し込みください。
申込先・問い合わせ先
鹿児島県男女共同参画センター
Tel 099-221-6603 E-mail: harmony@kagoshima-pac.jp

平成18年度鹿児島県男女共同参画推進地域講座 in 枕崎 受講生募集!

こんな素敵な人はいない!
第1回講演 乳がん闘い続けながら地域づくり
講師:本田節(ほんだせつ)さん
平成5年「ひまわりグループ」を設立。少子・高齢化社会を迎え「食・農・健康」をテーマに交流と研修により、地域活性化に寄与しています。
日時 2月3日(土) 14:00～16:30
場所 南薩地域地場産業振興センターホール3階
テーマ 男女が参画する地域づくり

第2回講演 全国を口論で一年中行脚する
講師:矢野大和さん スーパー市役所職員登場
高校在学中に「落語研究会」を設立しました。大学卒業後、宇目町役場に勤務し、現在は佐伯市の観光大使として活躍しています。
日時 2月12日(振替休日)
場所 南薩地域地場産業振興センターホール3階
テーマ 男と女のことばの重み
申込・問い合わせ先 Tel 0993-72-1111(内線460)
鹿児島県男女共同参画推進地域講座 in 枕崎実行委員会事務局



生家いま甥の寺なり枇杷の花
湯巡りの宿から宿へ紅葉坂
花石路のあたり明るき杉木立
遠方の友の便りや冬に入る
綿入れや形見となりし縞模様
図書館を出れば夕づき日短
抜きん出ている大根を引きにけり
引越し荷手つかぬままに日短
振り向きもせずひと走り初時雨

八久保千鶴子
坂元 幸子
飯野澄美子
北村ヒロ子
坂中 恭子
春日 フク
本村 湧水
田中 郁子
本村多可子

俳句 (はつはな俳句会)

一握の茶の実の粒も揃わぬに等しき音に触れ合いて鳴る
もの言わぬやさしさが欲し霜月の落葉いちまい肩に止まれり
名を呼びて天使の笑みと見つめ合う姑の眼も曾孫と同じ
秋うらら城見上げつつ立札に記されし由緒夢のまた夢
絵日傘をくるくる舞いし十三夜今宵の月に彼の目を重ね
新しく作りし印鑑手の平に白く冷たく黙していたり
来し方を振り返りおり池の面に小波たちて花びらひとつ
ほととぎす地球を守れとおらびつつ未明の東の方より近づく
朝々を足曳きながら近づけばクレマチスの花十日を保つ
リハビリの帰りの車窓に白鷺の落穂食みいる五六羽のみゆ
亡夫在りし頃はなかりし電動車月夜の庭を息の家に向かふ
齢寄れば足腰いたむは人並より口だけ達者と八十路の友等
葉の陰にはかむように山茶花の紅一輪知らなかつたよ
寝袋の如くまろまりおくるの葉風にゆらゆら虫のゆり籠

竹永 南海
暉峻 康瑞
池ノ上一枝
岡元 初子
川井田登志子
神田 節子
久保園百合子
児玉 末子
竹永 里子
外山 善恵
西江美津子
浜田 敏恵
林 静子
平川 澄子

文芸

短歌 (南船短歌志布支部)
Chinese poem of 31 syllables * Haiku poem * Comic Haiku * 2006-12



今年も良い年でありますように (白鳥神社初詣)

年取に絞りこんでは嬉しがし
伝統の技を受け継ぐゴマ搾り
閑古鳥昔恋しと鳴いている
打つ手なく異常気象にただあわて
墓参り延ばしのぼしの親不孝
慣れた道事故起きてから恐さ知る
さびしさに追いつかぬ隙間風
絞る手の力の無さを風呂で知る
人の値もドルだて評価野球界
句作りも脳の活性ボケ防止

上東マキエ
江藤 房子
坂本 俊幸
赤池 忠重
福山 吉連
橋口 昭治
高田 昭秋
小平あつ子
蓑輪 トミ
末永 一雄
内山 幸夫

川柳 (志布志川柳会)

秋の野を駆け出しそうなおかつぱの案山子ふたつが稲を見守る
八坂路を登り来たりて励まざる百寿目指せと子や孫達に
沈む陽は今日を限りのパワー出し真つ赤に燃えて吾をも染むる
夕庭にすだく虫の音細りたり移ろい早し吾の現世も
挽きたてをパクリと噛めばミニトマトパチツと弾けて朝露の味
人間をやめたいと思ふ事がある心にもない嘘ついた時

芭蕉忌やわれは手ぶらの六十路坂 坪田 秀邑
生き方より今は死にかた除夜の鐘 暉峻 康瑞
両肩のまばらに寂し北の風 永山 又生
風になろう鳥になろうとからす瓜 吉田 十二
軽やかに風呂より上がる除夜の母 野村佐和子
父の忌の桜紅葉を散らす風 山本 節子
くるくる落葉サンバの曲が終わらない 天水美保子
風の子の草上スキー冬日燦 肥後 洋子

益倉 睦美
松下 美美
松田 和子
宮原 順子
山田 和子
若松田鶴子



青年団員によるサンタクロースの訪問

あたや
元気やいじ

ユキエさん (76歳) 有明町野井倉
ユキエさんは九重連山や霧島連山を70歳を過ぎてから縦走するなど元気いっぱいです。
現在はシルバー人材センターからの派遣で、蓬の郷でオープン当初から週に3、4日は仕事をしています。
趣味は多く、旅行や踊り、ボランティアグループなかよしに参加のほかシルバー人材センターの会員になった時に研修で剪定や庭造りを習ったのをきっかけにガーデニングにも凝っています。
30代の頃に夫が倒れて、子ども3人を一生懸命働いて育てるなどの苦労もしましたが「苦しいときも前向きに考えて、一生懸命頑張って乗り切れば良い思い出になります」と振り返ります。
「焼酎は飲んでいなくても賑やかだから飲まない」と笑顔で話し、旅行で子や孫に会いに行くのを楽しみに、皆と楽しく、常に前向きに生きています。



大きくなあれ!



ゆか 優花ちゃん (4歳) ・ ようすけ 陽介ちゃん (2歳)
(松山町泰野)
父 裕二さん 母 みゆきさん
お手伝いや弟達の面倒をみてるしっかり者の優花。歌や踊りが大好きです。
食べることが好き、そしてお父さんが大好きな陽介。8月に弟が生まれ、お兄ちゃんな一面もみせてくれます。
これからも姉弟仲良く大きくなってね!
(両親より)



よしだか 義隆ちゃん (5歳)
たかひと 隆仁ちゃん (3歳)
みさと 未理ちゃん (1歳1か月)
(有明町蓬原)
父 良二さん 母 美幸さん
未理には、やさしい2人ですが、男同士のけんかが、毎日激しくなっています。これからも3人仲良く、元気に、たくましく育ててほしいです。
(両親より)

じん 仁ちゃん (1歳6か月)
(志布志町帖)
父 俊広さん 母 さおりさん
豆腐とアイスが大好きで大好きで、ばあちゃんの口癖で「あ〜いたよ」「やいやっ」など鹿児島弁もバッチリな仁ちゃんです。
「いつも笑顔をありがとう。心の強い優しい人に育ってね。いっぱい楽しい事しようね!」(両親より)



きらり青春

えりか 恵理花さん (有明町) 19歳 (ラスト10代!)
職業: 一般事務

趣味: 楽結舞 (ダンスサークル)
理想の異性: 自分が好きになった人
休日の過ごし方: できる!!
夢は: 95歳まで生きたい!
志布志市に何を望みますか: コンビニエンスストアを増やして欲しい!
友人から一言 (丸目由希): 由香梨が帰ってきたらまた4人でドライブしたり、食べに行ったり、語ったりしようね♥待ち合わせはいつもの場所で、(ハハ)ノ(笑) 仮重パパ・ママいつもありがと♥



ダンス仲間と練習中の今吉さん

志布志市誕生一周年記念式典

本年1月1日、市制施行一周年を迎えました

市では、志布志市誕生一周年を祝うとともに新たなまちづくりに向けて市民一人ひとりが心をつにし、自分たちのまちをより多く知る機会とするために記念式典を開催します。

一般席もありますので、市民の皆様のご来場をお待ちしております。

- と き 1月28日(日)
オープニング 9:20 開式 10:00
- ところ 志布志市文化会館
- 内 容 オープニング(宇都中学校吹奏楽部)
合併功労者表彰
市の花・木・イメージソング発表
懸賞贈呈
志布志市誕生一周年記念ビデオ上映
イメージソング合唱(有明中学校合唱部)
アトラクション(志布志小学校キッズソーラン)



水道だより

水は全ての生命の元！大切に！

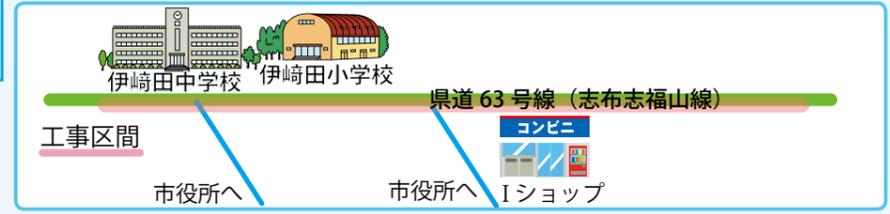
- 問い合わせ先
志布志市水道局 Tel.474-1111 (内 482)
松山分室 Tel.487-2111 (内 254)
志布志分室 Tel.472-1111 (内 217)
※志布志分室は、志布志支所内にあります

水道工事による交通規制のお知らせ

平成18年12月21日から19年3月20日まで県道志布志福山線、伊崎田山之口地区において『安心・安全な水道水の供給』を目指し、水道管布設工事を実施しています。

工事期間中は、道路の通行規制など、皆様にご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

なお、工事についてのお問い合わせは、志布志市水道局(左記問い合わせ先)までお願いします。



市道吉村中野1号線の中野橋が通れなくなります

平成18年度曾於南部(二期)農業水利事業(伊崎田幹線水路菱田川水管橋製作据付工事)を有明町蓬原中野地内で行うため、下記の期間は、市道吉村中野1号線を通り市役所から山重校区へは通行できなくなります。

近くに迂回路はありませんので、付近を通行される方は案内板に従ってください。

- 通行止めの期間 1月29日～3月14日
- 問い合わせ先 扶桑建設工業九州支店 Tel.092-475-7387

※工事は、国営曾於南部土地改良事業計画に基づき、菱田川横断の水管橋(農業用水配管)の新設工事です。

このコーナーについてはインターネット版ではご覧になれません。ご了承ください。

このコーナーについてはこちら

おぐやみ

「幸福をお祈りします」



12月になっても元気なひまわりの花(志布志地区)

市の人口 11月30日現在

人口	35,464人	(△1)
男	16,735人	(3)
女	18,729人	(△4)
転入	72人	転出 67人
出生	25人	死亡 31人
世帯数	15,598戸	(△2)

年金情報

市役所	474-1111 (内116)
志布志支所	472-1111 (内243)
松山支所	487-2111 (内224)

■ Pension information

フアクシミリで年金相談ができます

本人の基礎年金番号・年金コード、氏名、生年月日、住所、電話番号と年金相談の内容を記入のうえ、最寄りの社会保険事務所へフアクシミリしていただければ、ご相談内容の回答書を送付いたします。

フアクシミリによる年金相談の申請は、原則、本人に限ります。ただし、本人が身体の障害により相談することが困難な場合には、ご家族の方が年金相談を申請することができます。ご家族の方が年金相談を申請する場合は、本人が年金相談を申請することができない理由を記入のうえ、障害の状態がわかる書類等の写しとご家族であることを証明できる書類の写しを添付してください。(※次に掲げる書類のいずれかの写しが必要になります)

■障害の状態がわかる書類

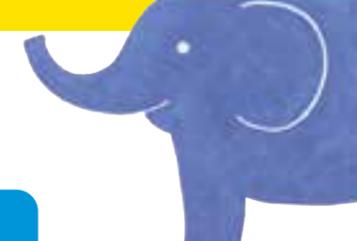
身体障害者手帳、要介護認定の通知書、精神障害者保健福祉手帳の写し(相談者が施設・療養機関に入所の場合には、施設長の証明書の写し)

■家族であることが証明できる書類

戸籍謄本(相談者と家族の方の名前が記載されているもの)、健康保険被保険者証等(本人と申請者の関係が分かるもの) そのほかにも来訪・電話・郵便等でも年金相談ができます。

■問い合わせ先 鹿屋保険事務所

Tel.0994-4215121



平成19年から あなたの所得税・住民税が変わります。

●平成19年から税源移譲により、**所得税と住民税の税率が変わります。**

何が変わるの？

「地方のことは地方で」という方針のもと、地方分権を積極的に進めていく「三位一体改革」が実現します。その柱といえるのが、今回の「税源移譲（ぜいげんいじょう）」。

税源移譲では、所得税（国税）と住民税（地方税）の税率を変えることで、**国の税収が減り、地方の税収が増える**こととなります。およそ3兆円の税源が、国から地方へ移譲されます。

どう変わるの？

税源移譲によって、地方は必要な財源を直接確保できるようになります。これにより、住民は**より身近で、よりよい行政サービス**を受けられるようになります。

所得税 平成19年1月分から適用 → 4段階の税率を、**6段階に細分化**
（所得税と住民税を合わせた税負担が変わらないよう制度設計）

住民税 平成19年6月分から適用 → 3段階の税率から、**一律10%に**
（都道府県民税4%・市区町村民税6%）

ほとんどの方は、1月分から所得税が減り、そのぶん6月分から住民税が増えることとなります。しかし、税源の移し替えなので、「所得税+住民税」の負担は基本的には変わりません。

モデルケース 税源移譲による負担変動（年額）

独身者の場合

給与収入	税源移譲前			税源移譲後			負担増減額
	所得税	住民税	合計	所得税	住民税	合計	
300万円	124,000円	64,500円	188,500円	62,000円	126,500円	188,500円	0円
500万円	258,000円	163,000円	421,000円	160,500円	260,500円	421,000円	0円
700万円	474,000円	307,000円	781,000円	376,500円	404,500円	781,000円	0円

夫婦+子供2人の場合

給与収入	税源移譲前			税源移譲後			負担増減額
	所得税	住民税	合計	所得税	住民税	合計	
300万円	0円	9,000円	9,000円	0円	9,000円	9,000円	0円
500万円	119,000円	76,000円	195,000円	59,500円	135,500円	195,000円	0円
700万円	263,000円	196,000円	459,000円	165,500円	293,500円	459,000円	0円

※夫婦+子供2人の場合、子供のうち1人が特定扶養親族に該当するものとしています。

※一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。

★このほか、実際の負担増減額には、平成19年から定率減税が廃止される等の影響があることにご留意ください。（詳しくは右のページをご覧ください）

◎税源移譲以外の主な変更点

●定率減税が廃止されます。

平成11年度から、景気対策のために暫定的な税負担の軽減措置として導入されていた定率減税が、最近の経済状況を踏まえて廃止されます。（所得税は平成19年1月分、住民税は平成19年6月分から）

平成18年

所得税：平成18年1月分から
 税額の10%相当額を減額（12.5万円を限度）

住民税：平成18年6月分から
 税額の7.5%相当額を減額（2万円を限度）

平成19年以降

所得税：平成19年1月分から廃止

住民税：平成19年6月分から廃止

モデルケース 夫婦+子供2人・給与収入700万円（年額）



	平成18年	平成19年
住民税	196,000円	293,500円
・定率減税	△14,700円	
所得税	263,000円	165,500円
・定率減税	△26,300円	
合計	418,000円	459,000円

※子供のうち1人が特定扶養親族に該当するものとしています。 ※一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。

●住民税の老年者非課税措置が廃止されましたが、経過措置がとられています。

平成17年1月1日現在、65歳以上の方（昭和15年1月2日以前に生まれた方）で、前年の合計所得金額が125万円以下の方は、平成17年度まで住民税が非課税でしたが、年齢に関わらず公平に負担を分かち合うという観点から、この措置が平成18年度から廃止され、現役世代と同様の制度が適用されています。ただし、急激な税負担を緩和するため経過措置がとられています。

平成17年度

合計所得金額
125万円以下の方
非課税

平成18年度以降

課税

経過措置として
 平成18年度は税額の3分の2を減額
 平成19年度は税額の3分の1を減額
 平成20年度以降は、全額負担

※この経過措置は昭和15年1月2日以前に生まれた方が対象になります。

モデルケース 70歳独身・年金収入200万円（年額）



	平成17年度	平成18年度	平成19年度
住民税	非課税	19,900円	住民税 × 1/3 37,300円
・定率減税		△1,500円	・住民税 × 1/3 △12,434円
・(住民税一定率減税) × 2/3		△12,267円	
所得税	34,800円	34,800円	所得税 17,400円
・定率減税	△6,960円	△3,480円	
合計	27,840円 (税額 27,800円)	37,453円 (税額 37,400円)	42,266円 (税額 42,200円)

※一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。

※年金収入200万円の方は、年金に係る控除を行った後の合計所得金額は125万円以下なので、経過措置が適用されます。

※各モデルケースの住民税（年額）は所得割に係るもので、このほか均等割が課税されます。

水田を所有または耕作される方へ

「情報提供同意書」及び「生産調整方針参加申込書」の提出はお済みですか？平成19年度より米の生産調整については、農業者団体（農協等）が主体的に需給調整していくことが国により決定されており、現在市が所有する水田に関する情報について農協への提供が必要となります。提供に対して同意がない方は産地づくり交付金はもちろん各種農政関係の補助事業等メリット措置が受けられなくなります。また、平成19年度より、産地づくり対策の申請ができる方は実際の耕作者となります。詳しくは、右記までお問い合わせください。



■問い合わせ先
 志布志市役所 農政課農政係 Tel. 474-1111 (内線 427)
 志布志支所 産業振興課農政係 Tel. 472-1111 (内線 451)
 松山支所 産業振興課農政係 Tel. 487-2111 (内線 232)

お知らせ
 Information

農業委員会委員選挙人名簿登載申請書の提出について

毎年1月1日現在で農業委員会委員選挙人名簿を調製することとなっています。昨年度、選挙人名簿に登載された方及び農業委員会に届出のあった新規就農者については、申請書を配布しましたので、次の登録資格を満たす方は、ご記入の上、最寄りの志布志市農業委員会（本庁・各分室）へ提出して下さるようお願いいたします。

■登録資格

- 1 年齢20歳以上の人(昭和62年4月1日以前出生者)
- 2 志布志市の区域内に住所を有する人

- 3 1及び2に掲げる事項に該当した人で次の事項のいずれかに該当する人
 - ① 10アール以上の農地につき耕作の業務を営む人
 - ② ①に掲げる人の同居の親族又はその配偶者でその耕作に従事する日数が年間おおむね60日以上であると農業委員会が認めた人
 - ③ 10アール以上の農地につき耕作の業務を営む農業生産法人の組合員又は社員でその耕作に従事する日数が年間おおむね60日以上であると農業委員会が認めた人
- 問い合わせ先
 志布志市選挙管理委員会 474-1111 (内線 291)

公的個人認証サービスの電子証明書の発行を受けている方へのお知らせ

本サービスは、平成16年1月29日から開始されていますが、有効期間が手続きの日から起算して3年間です。（電子証明書は有効期間が満了すると失効します）

■失効した場合には、国税の電子申告などの電子申請・届出に使うことができなくなります。

■更新を希望する方は、市役所・支所の窓口で手続きをしてください。

■更新手続きを行った場合は、現在の電子証明書は直ちに失効します。また、新しい電子証明書の有効期間は手続きの日から起算して3年間です。

■なお、現在の電子証明書が失効した後も、新しい電子証明書の発行を受けることができます。

公的個人認証サービスの電子証明書の更新手続きについて

1. 受付場所
 志布志市役所・志布志支所・松山支所の市民課市民係
2. 受付時間
 午前9時～午後4時（土曜、日曜、祝日を除く）
3. 持参いただくもの
 - ・更新する電子証明書が格納された住基カード
 - ・本人確認のために必要な資料
 （写真付きの公的な証明書例：写真付きの住基カード、運転免許証、パスポート等）
 - ・発行手数料 500円

■問い合わせ先
 志布志市役所 市民課市民係 Tel. 474-1111 (内線 112)
 松山支所 市民課市民係 Tel. 487-2111 (内線 225)
 志布志支所 市民課市民係 Tel. 472-1111 (内線 242)

山重幼稚園の園児を募集します

志布志市教育委員会では、平成19年度の山重幼稚園の園児を募集します。

■入園できる園児 満3歳以上

■保育時間 8時15分から14時まで

※但し、7時30分から8時15分までと14時から18時まで、預かり保育になります。

■保育料など（変更になる場合があります）
 入園料 500円
 教材費 1000円/月 保育料 4000円/月
 給食費 3650円/月

■募集期間 平成19年2月9日（金）まで

■入園手続き・問い合わせ先
 志布志市教育委員会有明教育支所教育課 Tel. 474-1111(内線 351)

今月の納税

納付期限 1月31日 口座振替日 1月25日
 口座振替をされる方は、口座振替日の前日までに残高確認をお願いします。

国民健康保険税（9期） 介護保険料（9期）

もつすぐ確定申告です

個人事業者など申告が必要な方以外でも風水害などの災害に遭われた方は「所得税法に定める雑損控除の方法」または「災害減免法に定める税金の軽減免除による方法」によって所得税の全部または一部を軽減することが出来ます。

多額の医療費を支払われた方やマイホームを新築（購入）・増改築し、年末において金融機関等からの借入金残高のある方なども、確定申告をすれば源泉徴収されている所得税が還付されることがあります。

ところで、個人事業者の方で、平成16年分の収入金額（課税売上高）が1千万を超えた方は、平成18年は消費税の課税事業者該当し、平成19年3月31日までに消費税の確定申告と納税をしていただく必要があります。

なお、確定申告書の作成にあたっては「確定申告の手引き」をご利用いただくとともに、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をご利用いただくことができます。

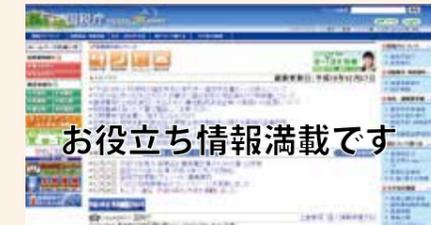
さらにeTaxをご利用いただく自宅や事業所からインターネットを経由して申告書を送信することができます。（事前に手続きが必要となります。）

申告書作成等について分からない

www.nta.go.jp

国税庁ホームページのご案内

国税庁では、税に関するさまざまな情報をホームページで発信しています。また、申告や納税等をサポートするサービスも提供しています。どうぞご利用ください。



お役立ち情報満載です

点などありましたら、最寄の税務署や税務相談室にお気軽にお尋ねください。

※確定申告書の用紙等は1月末日頃に送付されます。昨年より2週間程度遅くなりますので、ご注意ください。

■問い合わせ先
 ・大隅税務署
 Tel. 099-482-10007
 ・鹿児島税務相談室
 Tel. 099-255-18118

平成19年度保育所（園）申込案内

市福祉課では、平成19年度保育所（園）入所申込みの受付を行います。

平成19年4月から入所希望のお子さんをお持ちの保護者の方は、保育所（園）の入所申込をしてください。入所申込書は1月10日（水）から、志布志市役所本庁・支所または各保育所（園）に準備しております。

■入所申込書の受付期間
 平成19年1月15日（月）から1月31日（水）
 ※土日祝祭日は除きます。

■入所申込受付場所 志布志市役所本庁・支所 福祉課窓口

■申込方法

配布・受付場所に用意してある『保育所入所申込書』に必要事項を記入し『保育に欠ける（保育できない）状態を証明できる書類（父・母の就労証明等）』と『同居者全員の課税証明書（平成18年度）』を添付して、保護者が直接申し込んでください。

また、『所得税額を証明するもの』の提出は、源泉徴収票は会社等から受領され次第、確定申告書の写し等は申告が済み次第、平成19年3月16日（金）までに提出してください。申込書は児童1人に1枚です。



■保育所に入所できる基準
 家庭外就労、家庭内就労（内職等）、母親の出産・病気や負傷、家庭の災害等により児童の保育ができない場合。

■保育料
 それぞれの家庭の所得に応じて負担していただきます。

■問い合わせ先
 本庁 福祉課児童福祉係 Tel. 474-1111 (内線 173)
 松山支所 福祉課福祉係 Tel. 487-2111 (内線 275)
 志布志支所 福祉課児童福祉係 Tel. 472-1111 (内線 227)

路線バス時刻表について

平成 18 年 11 月 8 日から改正された路線バス時刻表 (志布志市に発着する路線バス) を市のホームページ (トップページ⇒ライブイベントインデックス【生活】) に掲載していますので、ご利用ください。

なお、詳細につきましては、大隅交通ネットワーク志布志営業所にお問い合わせください。

問い合わせ先 大隅交通ネットワーク志布志営業所
Tel 472-1181

鹿児島県立牧之原養護学校作品展について

牧之原養護学校では平成 18 年度の作品展を下記のとおり開催します。

■ 牧之原養護学校内作品展 (体育館)

展示 1 月 24 日～1 月 26 日

■ 校外作品展

国分シビックセンター 1 階市民ギャラリー

1 月 29 日 (月) ～2 月 6 日 (火)

鹿児島空港 3 階ギャラリー「フレンドリー」

3 月 1 日 (木) ～30 日 (金)

問い合わせ先 牧之原養護学校 作品展係
Tel 0995-56-2665

大隅地区認知症セミナー

大隅地区認知症グループホーム連絡協議会

■ テーマ「認知症を知ろう」(参加費無料・要申込)

～もし、あなたが認知症になったら、
どのように生きていきたいですか?～

■ 日時 2 月 24 日 (土) 12:30 受付 13:30 開始

■ 場所 鹿屋市文化会館

申込・問い合わせ先 特別養護老人ホーム鹿屋長寿園
Tel 0994-43-2546 (林田)

水道修繕当番店

松山地区

1 月 加世田建設 Tel 487-2057

2 月 佐藤建設 Tel 487-2049

志布志地区

1 月 9 日～1 月 15 日 宮崎水道 Tel 472-1081

1 月 16 日～1 月 22 日 高吉組 Tel 472-0721

1 月 23 日～1 月 29 日 崎田建設 Tel 473-0050

1 月 30 日～2 月 5 日 志布志水道 Tel 472-3540

1 月 6 日～2 月 12 日 九電工 Tel 472-0112

2 月 13 日～2 月 19 日 山本組 Tel 472-1101

有明地区

1 月 郡山工業 Tel 475-0008 有線 2691

2 月 西江建設 Tel 474-2113 有線 5703

育児・介護などで退職された方へ

■ 再就職希望登録のおすすめ!

妊娠、出産、育児または介護のために退職した方で、将来的に再就職を希望する方の再就職の準備を長期的に支援しています。(退職前に雇用保険被保険者であった方)

■ 登録した方への支援内容は?

①「Re・Be ワークセミナー (再就職準備セミナー)」の参加

②「再就職に役立つ情報誌」の送付

③「個別相談」

■ 登録手続きは簡単、無料です!

問い合わせ・申込先

(財) 21 世紀職業財団鹿児島事務所 Tel 099-259-7815

法務局サンデー相談

■ 日時 平成 19 年 1 月 28 日 (日) 10:00～16:00

■ 場所 鹿屋市中央公民館

■ 相談の内容

・登記 土地・建物の売買・相続等、土地の境界問題、その他不動産登記関係全般、会社法人の設立、役員変更等の登記関係全般

・戸籍・国籍 出生・婚姻・養子縁組・帰化等の問題

・供託 土地建物の地代家賃の弁済のためにする供託
裁判上の保証供託のような担保のためにする供託
強制執行のためにする供託の問題

・人権 家庭内暴力、家族間の問題、差別、いじめ、遺言などの問題

■ 相談員 法務局職員
相談は無料で、秘密は固く守られます。

※どなたも相談でもお気軽にお越しください。

問い合わせ先 鹿児島地方方法務局鹿屋支局総務課
Tel 0994-43-6790 (内線 41)

1月・2月 休日在宅医診療

14日 びろうの樹整形外科(整形・内科) Tel471-6611

石神診療所(内科、皮膚科) Tel474-0107

21日 砂原医院(内・外科・小児科) Tel474-0020

山口内科(内科) Tel473-1188

28日 藤後クリニック(内科) Tel472-1237

手塚クリニック(内科、外科) Tel472-5565

4日 大山病院(内科) Tel472-1400

陽春堂内科診療所(内科) Tel472-5511

11日 はまさき耳鼻咽喉科(耳鼻咽喉科) Tel473-3387

藤後クリニック(内科) Tel472-1237

12日 山口内科(内科) Tel473-1188

ひろた小児科(小児科) Tel471-6111

※都城市・北諸郡管内の休日の救急診療機関は、電話でのテープ案内(Tel0986-23-5555)を行っていますのでご利用ください。

FM 志布志 ラジオ番組制作講座生徒募集! ～あなたも番組作りに参加しませんか～

■ A コース 「パーソナリティー養成講座」

■ 第 1 期 1 月～2 月 1 月 16 日 (火) 1 月 30 日 (火)

2 月 6 日 (火) 2 月 20 日 (火)

■ 講師 二見いすず (南日本放送パーソナリティー)

■ B コース 「ミキサー (音響技術) 養成講座」

■ 第一期 1 月～2 月 1 月 15 日 (月) 1 月 22 日 (月)

2 月 5 日 (月) 2 月 20 日 (火)

■ 講師 竹井恵実 (元専門学校講師)、白鳥英臣、日高政広

■ 時間 18 時 45 分～20 時 15 分 (A・B コース共)

■ 場所 アピア 1F FM 志布志スタジオ (A・B コース共)

■ 定員 10 人 (A・B コース共)

■ 受講料 4000 円 (A・B コース共)

申込・問い合わせ先 おすすめ FM ネットワーク

Tel 0994-41-1485 Fax0994-41-0370

E-mail : info@daredemoradio.jp

地域創業助成金の概要についてお知らせします

地域貢献事業 (サービス 10 分野及び市町村が自ら選択した重点分野) において創業する者に対し、創業経費及び雇入れについて助成を行います。

■ 要件

①法人又は個人が、次の地域貢献事業における創業を行うこと。

②創業の日の翌日から起算して 6 か月以内に、地域貢献事業の実施に係る計画の認定申請を行い、その認定を受けること。

③創業後 1 年半以内に、継続して雇用する労働者を 2 人以上 (うち 1 人は非自発的離職者。ただし、非自発的離職者自らが創業する場合は 1 人以上とする。) 雇入れ、3 か月以上経過していること。

■ 地域貢献事業 サービス 10 分野

①個人向け・家庭向けサービス ②社会人向けサービス

③企業・団体向けサービス ④住宅関連サービス

⑤子育てサービス ⑥高齢者ケアサービス

⑦医療サービス ⑧リーガルサービス

⑨環境サービス ⑩地方公共団体からのアウトソーシング

※志布志市では平成 18 年 10 月 1 日から農業、食料品製造業、一般飲食店を地域重点分野として設定しています。

■ 助成額

①新規創業支援金 産業経費の 2 分の 1 を支給します。
(上限は条件により 150 万円～500 万円になります)

②雇入れ奨励金 非自発的離職者 1 人当たり 30 万円
(上限 100 人分) を支給します。

※上限額など詳細につきましてはお問い合わせください。

内容照会・問い合わせ先

財団法人鹿児島県雇用支援協会 Tel 099-219-2000

大隅公共職業安定所 Tel 099-482-1265

お知らせ Information

平成 18 年度アルコール依存症講座開催

志布志保健所では、アルコール依存症の方やそのご家族を対象に教室を開催します。「お酒の飲み方が気になる」「1 日中飲んで周囲に迷惑をかける」などご心配がありましたら、ぜひご参加ください。教室をとおして依存症について、また家庭の対応について等この病気に対する認識を深める機会としてみませんか。

	日時	内容
第 1 回	2 月 16 日 (金) 13:30～16:00	アルコール依存症とは? 講師: 県立始良病院 精神科医師
第 2 回	3 月 1 日 (木) 13:30～15:00	AA について～依存症からの回復の道 講師: AA 九州・沖縄セントラルオフィス所長
第 3 回	3 月 12 日 (月) 13:30～15:30	アルコール依存症と家族の関係 講師: 県立始良病院 心理士

※ AA とは、アルコール依存症回復者の自助グループです。

■ 開催場所 志布志市役所志布志支所 1 階大会議室

問い合わせ先 志布志保健所 保健指導課 Tel 472-1021

地域医療支援病院承認のお知らせ

県民健康プラザ鹿屋医療センター

県民健康プラザ鹿屋医療センターは、平成 12 年 5 月に旧県立鹿屋病院から県民健康プラザ鹿屋医療センターに名称変更になり、大隅地区の中核病院として、患者のかかりつけ医は地域医療機関で、地域医療機関で困難な高度な検査や治療は当センターで行い、地域医療機関で対応できない二次救急医療は当センターで行うなど、地域医療機関の方々との連携に取り組んできました。

その結果、地域医療機関からの患者の紹介率は当初 17% でしたが、平成 17 年度に 67% になりました。

大隅半島は専門医療や高度医療を担う医療機関が少なく、鹿児島市までの救急搬送に時間がかかります。

鹿屋医療センターは、これまで以上に大隅半島全体の医療支援ができるように、地域医療支援病院の申請をしていますが、平成 18 年 9 月 12 日に県から承認されました。県内では 9 か所目で県立病院では初めてです。

今後は、地域の中核的病院としての機能の充実をさらに図り、患者中心の一貫性のある医療、地域医療機関の医師と共同での診察や治療、病院の開放、高度医療機器の利用提供、病院間相互の医学・疾病の研修等により、さらに病院間の連携を深めて医療の充実を図ります。

鹿屋医療センターへの意見や要望などありましたら、何でも結構ですでお寄せください。

問い合わせ先 県民健康プラザ鹿屋医療センター

Tel 0994-42-5101 (内線 120 担当: 小屋敷)

志布志市くらしのカレンダー

日曜当番医は39ページに掲載しています

ニュース・ご意見などありましたら E-mail info@city.shibushi.lg.jp までご一報ください

1/13 (土)		29 (月)	
14 (日)		30 (火)	1歳6か月健康診査(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ)
15 (月)	男女共同参画推進講演会(19:00~ 改善センター)	31 (水)	
16 (火)	法律相談(13:00~15:00 志布志支所5階会議室) 肺がん検診(脱ろう検診)志布志地域※1 1歳児歯科相談/育児相談(13:30~15:00受付 やっちくふれあいセンター)	2/1 (木)	
17 (水)	肺がん検診(脱ろう検診)志布志地域※1	2 (金)	
18 (木)	平成19年度鹿児島県茶業振興大会決起大会(14:00~) 行政相談(13:00~16:00 志布志支所1階会議室) 両親学級(9:30~9:40受付 健康ふれあいプラザ) 3歳児健康診査(13:00~13:30受付 改善センター)	3 (土)	劇団四季ファミリーミュージカル(26頁参照)
19 (金)	1歳児歯科相談(9:30~10:00受付 健康ふれあいプラザ) 育児相談(10:30~12:00 健康ふれあいプラザ)	4 (日)	
20 (土)	地区教育振興大会(8:45~11:55 志布志市文化会館) ありあけサタデー広場(有明地区各校区)	5 (月)	
21 (日)	志布志ジョガー 駅伝(8:30~13:00 志布志運動公園陸上競技場) にこにこひろば(10:00~ 改善センター)	6 (火)	法律相談(13:00~15:00 志布志市役所3階会議室) 心配ごと相談(10:00~15:00 市老人福祉センター) 2歳児・5歳児歯科検診(13:00~13:30受付 改善センター) 育児相談(13:30~15:00 やっちくふれあいセンター)
22 (月)	3種混合予防接種(13:30~14:00受付 改善センター)	7 (水)	母子手帳交付(13:30~16:00 本庁保健課窓口)
23 (火)	心配ごと・行政相談(10:00~15:00 市老人福祉センター) 3種混合予防接種(13:30~14:00受付 アピア2階ホール)	8 (木)	
24 (水)	第61回県民体育大会曾於大会志布志市実行委員会 設立総会(15:00~ 改善センター) 母子手帳交付(9:00~12:00 松山支所福祉課窓口) 3種混合予防接種(13:30~14:00受付 アピア2階ホール) 母子手帳交付(13:30~16:00 本庁保健課窓口)	9 (金)	巡回検診(7:00~8:00受付 やっちくふれあいセンター)※2
25 (木)	無料税務相談(10:00~15:00 志布志支所1階女子休憩室) 1歳6か月健康診査(13:00~13:30受付 改善センター)	10 (土)	
26 (金)	文化財防火デー 1歳児歯科相談(9:30~9:45受付 宇都鼻研修センター) 3歳児健康診査(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ) 育児相談(10:30~12:00 宇都鼻研修センター)	11 (日)	建国記念日 介護予防講演会(10:30~12:00 アピア2階ホール)
27 (土)	有明ブロックPTA活動研究委嘱公開(9:30~ 山重小) 第20回地区対抗女子駅伝激励会(午前 曾於市大隅町) 第54回県下一周駅伝結団式	12 (月)	振替休日
28 (日)	志布志市誕生1周年記念式典(市文化会館) 第20回地区対抗女子駅伝競争大会(霧島市)	13 (火)	
		14 (水)	母子手帳交付(9:00~12:00 松山支所福祉課窓口) 両親学級(9:30~9:40受付 健康ふれあいプラザ)

- ※1 場所時間などについては通知書をご覧ください。(6月~10月の間に受診された方は対象ではありません)
- ※2 巡回健診は「基本健診・胃がん検診・超音波検診」になります。(5月~9月の間に受診された方は対象ではありません)
- ※3 志布志支所の母子手帳の交付は毎週月曜日午前中です。

編集後記

▼毎年「今年こそは何かしよう！」と正月を迎えるのですが「何か」が見つからない間に今年も2週間が過ぎようとしています。▼年末のイベントで市役所裏の『岳野山』で石像の取材に行きました。十二支会が最初にねずみの石像を一つ設置しただけの山頂も12年の月日と共に賑やかになり、今では全ての干支がグルリと輪を描いて私たちを迎えてくれます。▼あいさつの中で石像を作った一人、岩本さんが「100年後もこの石像は、この地で私たちの子孫を迎えることでしょう」と話されました。▼果たして私達は100年後に何か残せるでしょうか?そう考えると、一日一日の大切さが身に沁みます。毎日を大事に頑張ろうと考えさせられる一言でした。(あ)

1月・2月の行事予定

げんき市(昭和通付近)
毎週土・日曜日(9時~15時)

花野果市(田之浦ふるさと交流館)
1月28日(9時~12時)

やっちくふれあい市(道の駅松山)
1月28日、2月11日(10時~12時)

戊の市(宝満寺)
1月16日、28日、2月9日

駅通り会土曜朝市(アピア前駐車場)
毎月第1、第3土曜日(7時~11時)

そば処ちんたら庵(山重芝用)
毎週日曜日11時~14時

無料税務相談(志布志支所1階女子休憩室)
1月25日(10時~15時)

◎この広報紙は再生紙を使用しています。